



おしごと

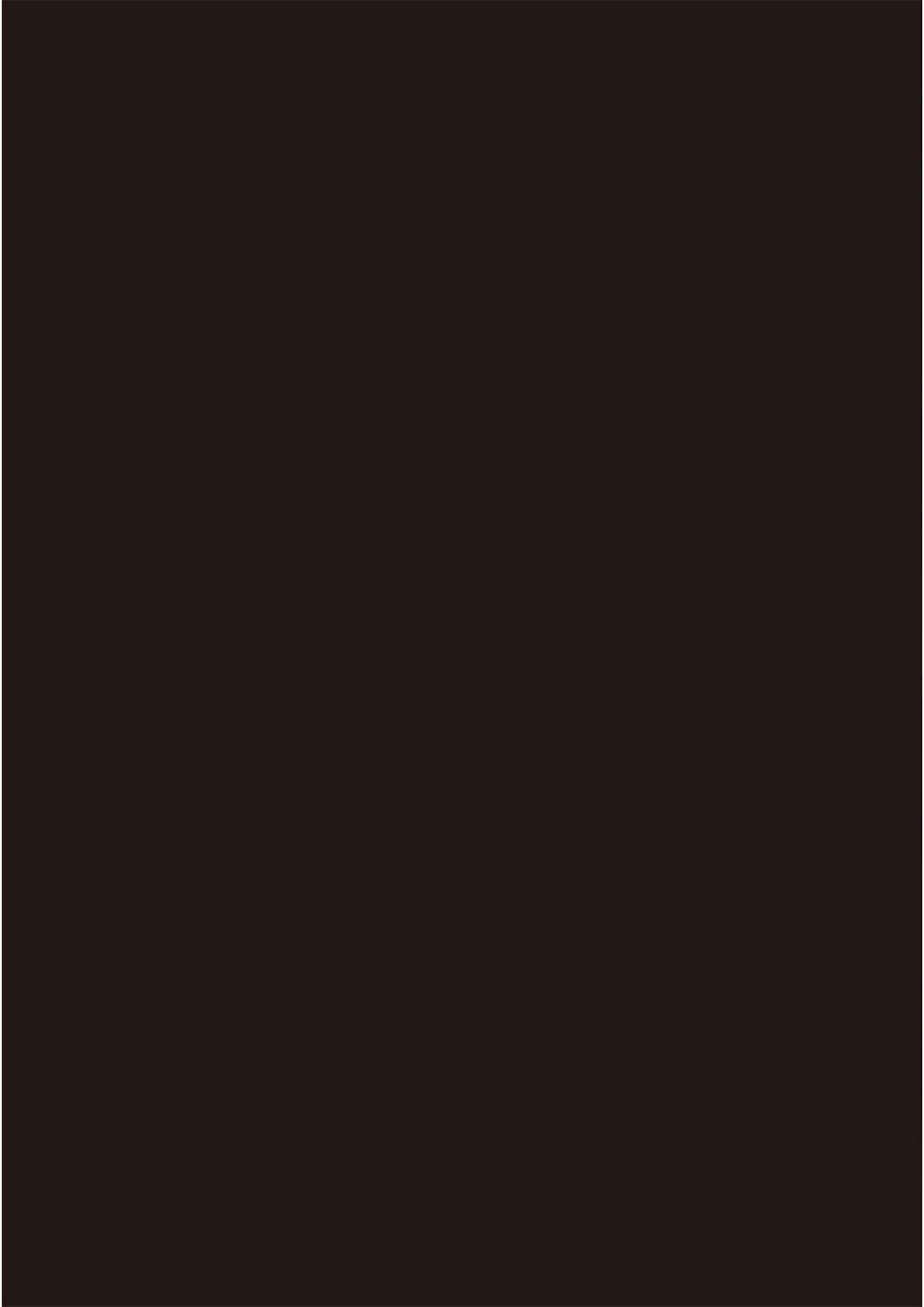
変態の

女王様

SM
パフォーマンス

女装
スペシャリスト

特殊な性癖を活かした職業人が語る
ちょっと素敵なヘンタイたちの世界



おしとん

変態の



はじめに [変態ライフを楽しむ]

カミングアウトの時代を経て、世間に広がってきた『変態』。
『変態』を仕事にする人たちのエピソード集。

◎ 変態の違和感が薄れてきた平成年間

平成という年号が終わりを告げようとしている 2019 年。

その平成という元号で過ごした 30 年ほどの期間に、『変態』の意味するものは大きく変容してきました。

人間として、より自由に生きることを追及してきた 30 年。

IT 革命などもあって、私たちは様々な、そして莫大な量の情報を目にするようになりました。

そんな状況の中で、いろんな人たちのいろんな趣味を知ることになります。個性を尊重する努力をした時代でもありますから、理解とか共感とかは別としても、様々な趣味の存在を知ることになりました。

性嗜好についても同様です。

特殊な性嗜好 = 『変態』は、SNS などを利用することで、同好の士との繋がりを作ることが、以前より容易になりました。

これは昭和の時代なら、その『変態』な性癖に特化した雑誌やお店などを通じてしか広がりを探るしかなかったわけです。

自分の性癖をカミングアウトしても、今では受けるほうの知識も豊富になっていますから、変態ではない一般の方でも、その特殊性に対しての嫌悪感などは薄れてきているように感じられます。

『変態』であることが認められるようになった時代。それが平成だったように思います。

変態の

◎ より自由に生きるための変態のおしごと

以前には変態として扱われていた性嗜好の中に、最近では変態として認められなくなったものもあります。

LGBTとして語られる同性愛が代表的で、現在では医学界が変態として扱わないようにしています。

今のように個を尊重する時代になってしまうと、何が変態で、何がそうではないのか、わからなくなっているようなところもあります。

目隠しをしてセックスをすとか、軽く両手を拘束してセックスをすとか、それだけで変態行為として認定する人もいるでしょう。反対に、そんな普通の性交じゃん、という認識の人も多いでしょう。

「なくて七癖」ではありませんが、人の数だけ性的な好みはあるわけで、人の数だけ変態の基準はありと言えます。

そんな平成最後の年、『変態のおしごと』を扱うにあたって、色々と悩みました。

一般と特殊の境界線を探すことには意味がないので、ちょっと違ったエッチを楽しんでいる人を、『変態のおしごと』をしている人と認定して、職業にまつわるエピソードを色々と伺いました。

SMという言葉で括られる、緊縛をメインにした変態行為をステージで見せるイベントパフォーマーの皆さんのお話。肉体ごと女性になりたいニューハーフさんではなく、女性の服を着ることで、男のまま女性になりたい女装子さんたちのお話。男たちを奴隷として躡けていく、女王様たちのお話。

ちょっとだけ普通と違った方々のエピソードを通じて、現在の『変態』事情を知っていただければ幸いです。

(『変態のおしごと』編集部)

おしごと

目次

- 002 はじめに
変態ライフを楽しむ
- 006 変態のおしごと・序
そもそも変態って何だろう？ 変態について考えてみた
-

- 012 変態のおしごと・パフォーマー編
平成最後の大晦日 SMパフォーマーたちの競演
- 014 変態のおしごと・パフォーマー編
伝説の女王様がステージで輝く
- 022 変態のおしごと・パフォーマー編
手作り衣装で魅せる元レースクイーン女王様
- 030 変態のおしごと・パフォーマー編
変態ガールズユニットの全力パフォーマンス
- 038 変態のおしごと・パフォーマー編
ナチュラルボーン女王様のジェットコースター人生
-

- 046 変態のおしごと・女装子編
18cmの巨大なペニクリ 逆アナル専門の女装子さん
- 062 変態のおしごと・女装子編
AV出演から風俗店勤務へ ある女装子さんの半生

- 084 変態のおしごと・女王様編
女王様AVの老舗 北川プロのレジェンドたち
- 098 変態のおしごと・女王様編
監禁という言葉に興味があり、そこから始まりました
- 106 変態のおしごと・女王様編
女性崇拜の世界を作り出す真性のサディスティン
- 113 変態のおしごと・女王様編
持って生まれた嬢王の才能 S姉妹のプライベート
-

- 119 変態のおしごと・医療編
S看護師の赤裸々な告白
私が医療プレイに目覚めた理由
-

変態の おしごと



そもそも変態って何だろう？ 変態について考えてみた

普通とは違った性的嗜好

この本で語っていく変態は、変態性欲。

普通とはちょっと違ったエッチな性嗜好です。

変態、と一口に言っても、時代的背景や個人の考えで大きな差があると思います。

時代的背景による違いとしては、例えば LGBT という単語で扱われる同性愛や両性愛などは、この 20 年ぐらいの間で受け止められ方が大きく変わった性的マイノリティーの一つでしょう。

20 世紀の日本だと「ホモ」とか「オカマ」とか「レズ」みたいな蔑称的な意味合いのこもった言葉で扱われていた、まさに『性的弱者』でしたが、現在ではニューハーフや女装のタレントさんたちが多くのメディアで活躍するなど、大多数に認められるようになっていきます。

こういった身近な世間の風潮だけではありません。

医学的にも同性愛は性的指向は異常＝変態ではない、というのが世界的な考え方になっています。

また一般的に変態性欲というと、縄で縛ったり鞭で打ったりするような SM プレイをイメージするかも知れませんが、SM もまた昭和時代と現代で比べると、異常の度合いが薄れてきている感もあります。

「〇〇ってド S だよなー」

「私って M っぽいかも？」

みたいな会話も、テレビ番組のトークなどでも日常的な感覚で交わされているようになっていきます。

おそらく、このぐらいの感覚で S とか M とか口にする方は、特に変態ではないと思いますが。



イラスト：コバヤシテツヤ

そんな次第で、育ってきた時代背景や個人の考え方で、変態性欲という言葉がフォローする範囲は大きく変わってしまうような気がします。

変態性欲って、どんなのがあるんだろう？

変態プレイとして代表的なものをいくつか列挙してみます。

- ・浣腸プレイ
- ・緊縛プレイ
- ・ろうそくプレイ
- ・露出プレイ
- ・羞恥プレイ
- ・コスチュームプレイ

普通の男女の性的交合を基準にすると、どれも一般的ではないらしく、こういったプレイが変態プレイとしてカウントされるようです。

でも、あくまで個人的な考えですが、下の3項目は果たして変態行為なのだろうか……と疑問が湧き上がってしまいます。

上の3項目は、身体的苦痛や生理的嫌悪感が伴う行為なので多少ハードルが高くなりそうだから、変態プレイと認定するのに異論はありません。

下の3項目については性的興奮を得るためのスパイスとしてありなのではないかと。むしろ人間らしい性的快感、大脳新皮質まで道連れにして大きく性的快感を得る手段として一般に推奨したいぐらいです。

ただ、露出といっても街中で全裸になったりするのはいけません。そのままやってしまうと犯罪行為になってしまいます。

ビルの物陰のような人目につかないぐらい迷惑にならない場所で、こっそりパートナーの感じるポイントを触ったり、触られたりして、雰囲気を楽しむ程度にしてください。

衆人環視の街頭で全裸にならなければ性的快感が得られない、というならば、これは完全に変態性欲と言わざるを得ません。

最も下の項目に置いたコスチュームプレイ。

学生服やナース服などを着用して、その衣装が持っている雰囲気に沿ったイメージーションの中で性行為をするプレイです。

これなどは完全に一般的性行為の範疇として認めていただきたいのですが、変態プレイとして扱う方も多いようです。

以上が、この6項目に対する個人的な見解なのですが、おそらくこの本を読んでくださっている方の数だけ、変態に関する考えがあるように思います。

普通とはちょっと違った面白い性癖

とはいうものの、この本で扱う『変態』について明確にしておくのと、ちょっとだけ普通とは違っている面白い性癖、ということにしておきます。

変態としてわかりやすいSMはもちろん、変態性欲として扱います。

緊縛や鞭打ちといった行為で、肉体的には拘束感や痛み、精神的には屈辱や羞恥を与えながら、性的に興奮するのは立派な変態です。

それから、医学的には変態とされなくなったジャンルから女装子さん。

肉体改造をすることなく、男性のままで化粧をして女性の服を着ることで女性として振る舞う人たちで、身体ごと女性になりたいニューハーフとはちょっと違います。衣装倒錯とか呼ばれたりします。

こういった人たちを中心に、ちょっと変わった性的な遊びを楽しんで、それを仕事にしている人たちに話を聞いてみました。

普通の性から脱却して、自由な性を謳歌する人たち。

彼らの言葉に刺激されて、読者の皆様の中に眠っている変態の種が芽を出すようなことがあれば幸いです。



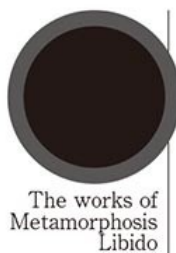
変態のおしごと



変態のおしごと

The works of Metamorphosis Libido

平成最後の大晦日に集まった
SMパフォーマーたち



変態のおしごと・パフォーマー編

平成最後の大晦日 SMパフォーマーたちの競演

さよなら 2018 ! 変態たちのカウントダウン

2018年12月31日、新宿にあるストリップ劇場『DX歌舞伎町』で、平成最後の大晦日を彩る変態イベントが開催されました。

ゆくなわくるなわ。

15時に始まって新年まで続くという、まさに平成30年を見送るに相応しい大型イベントでした。

主催は気鋭の縄師お二人、鶴神蓮さんと天馬ハルさん。

お二人をバックアップするプロデューサーが、平成の変態の母である、三代目葵マリーさん。

多くのパフォーマーさんが参加したこのイベント、なんと正確な香盤表(=進行スケジュール)が存在しないという、デンジャラスな要素が満載のショーでした。

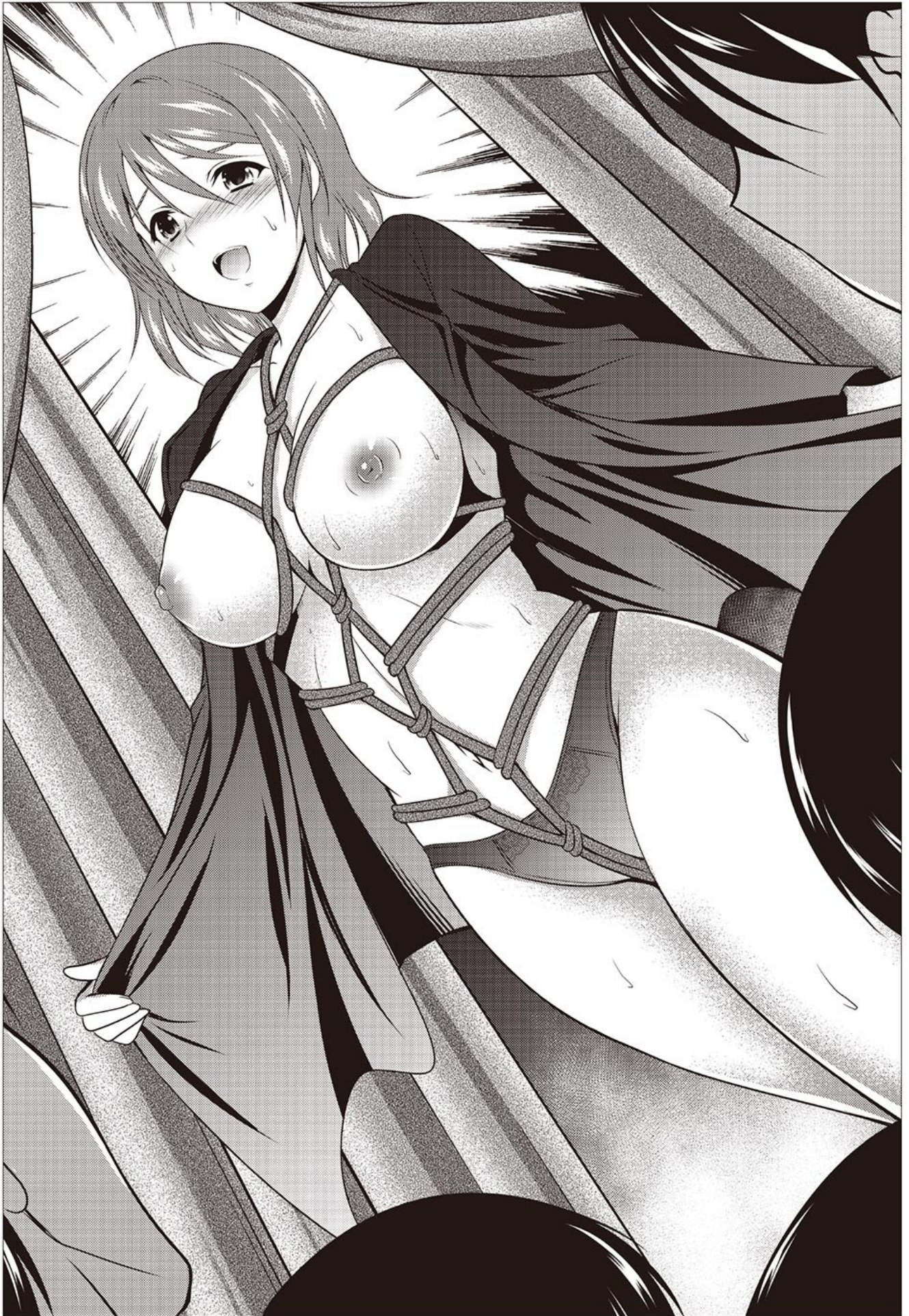
ハラハラドキドキのこのイベントを、MCとして見事に仕切っていたのが、劇場で生まれ劇場で育った生粋の芸人さんで、三代目葵マリーさんの盟友である松本格子戸さん。

多少のハプニングはネタに昇華しながら、観客の皆さんも巻き込みつつ、難なくイベントを進行していました。

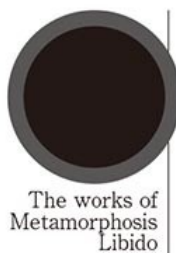
マリーさんのご厚意で、たくさんのパフォーマーさんが集まるイベントにお邪魔してお話を聞くことができました。

香盤がない=いつ出番が明確ではない状況で、楽屋からのインターネット配信も行われるなど、皆さん多忙な中でしたが早くインタビューを引き受けてくださいました。

たくさんのSMファンの皆さんに最高のSMパフォーマンスを提供している皆さんの、変態のおしごとについて聞いてみました。



イラスト：秋月たかひろ



変態のおしごと・パフォーマー編

伝説の女王様が ステージで華麗に輝く

女王様AVのレジェンドが舞台で圧巻のプレイを

飛室イヴさんはSM界の伝説といえる女王様。数々の女王様AVに出演し、M男性たちのみならずS男性にも多くのファンを持っています。

Twitter アカウント @himuroeve

いちばん初めに劇場に出たのが、今のSM大会の前だから、何年前だろう？ 今のシリーズの前くらい。ずっとね、誘ってもらってたんですけど。——DX 歌舞伎町に上がることも多いですね

DX 歌舞伎町は、でも、ずっとお声がけいただいて、あと、マリーさんのイベントにもね、呼んでいただいているので。

——映像作品とステージでは、縛りの勝手って違うと思うんですか？

あたしの場合は、そんなに変わってないんですよ。

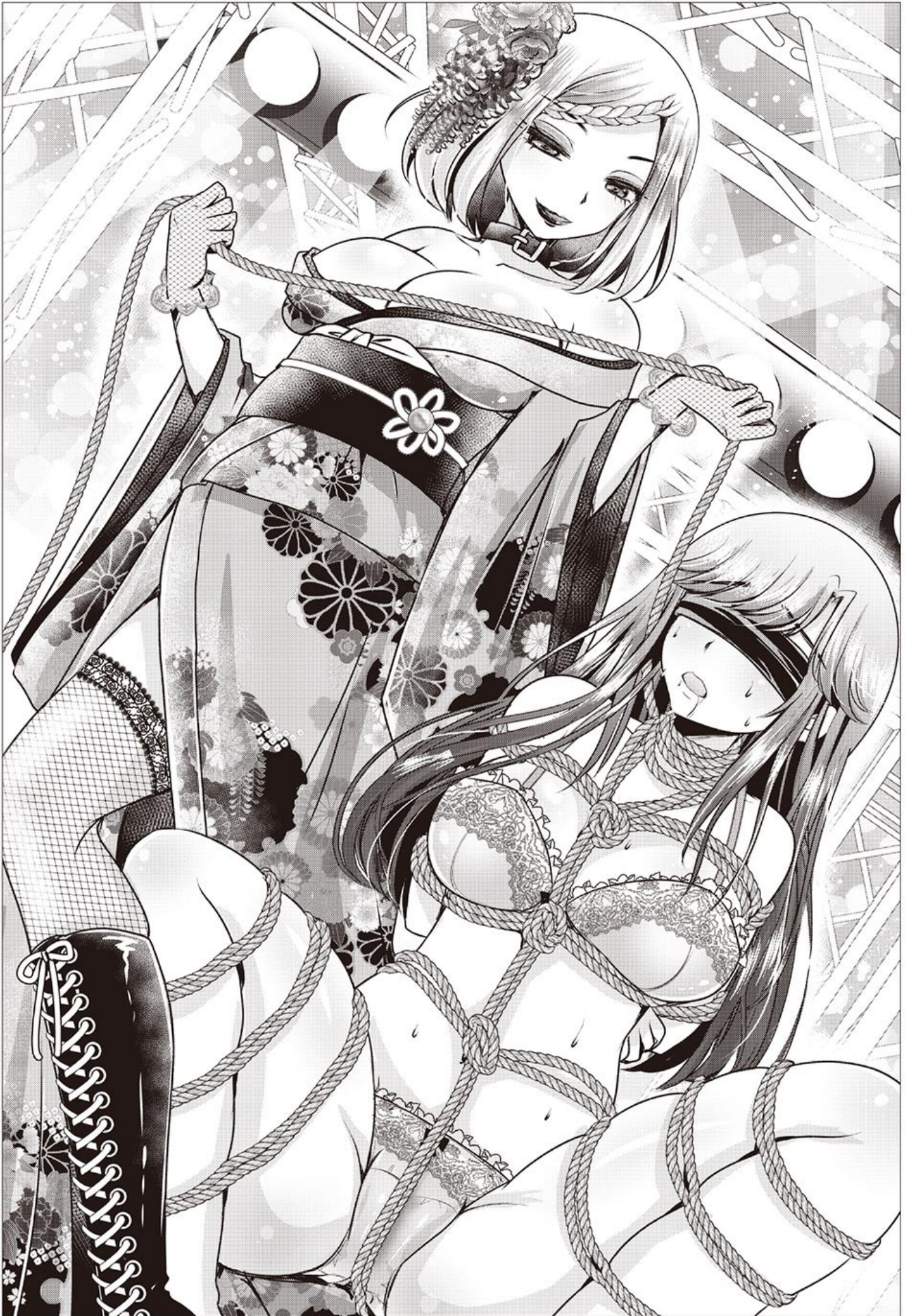
——カメラに向かって見せるのと、いろんな方向からお客さんが見ているっていう違いがなどはないんですか？

昔の、アダルトビデオが調子いい時って、撮影するカメラが何台もあつたじゃないですか。それこそ、いろんな方向から撮ってましたからね。そのカメラをお客さんの視線に見立てたら、あまり変わらないですよ。

——昔は今と違って2カメ、3カメが普通でしたもんね。

あと、広範囲撮れるワイドカメラとかもあつたんで、それをお客様に見立てると変わらない。それほど意識せずにステージに立ってます。

あと、カメラが少なかったら、縛られているM女の子の身体を回してあげたりしますからね。それと同じ感覚で、客席に向かって、あっちを見せるこっちを見せる。こういう方法は、やっぱりVの方でだいぶ勉強させて



イラスト：うすべに桜子

いただきましたね。

—イヴさんは、かなりの本数の女王様作品に出てらっしゃいますもんね。

やっぱり、ショーとかライブとかって、やり直しが利かないじゃないですか。そういう意味では、うまい具合に双方向的に勉強させていただいて、相乗効果で。

—事故が起こらないらないように、っていう緊張感は、どっちも一緒ですもんね。

Vだと、ホントにダメだったら止められるじゃないですか。ライブだと、それは難しくなってくるので。

そういうところは、違いはあるのかな、って思ったんですけど、変わらないんですね。

もちろん、若干の違いはあります。自分が師匠から教わったのも、やっぱりVのドラマ部分のくくりで縛るのと、ライブで縛るのとで縛り方は変わりますし、パッケージ撮影では、また縛り方が変わったり。

私の場合は割とライブで縛ることが多いので、流れとして繋げやすい縛り方が多くなるんです。

パッケージ撮影では、ビジュアル優先というか、止まってバシッと決まる縛りになりますからね。

—動きの中とバシッと決まってる時では、縛りの見せ方は違いそうですね。割と決まったM女さんとやってるんですか？

劇場だとそうですね。

やっぱり、慣れてる子の方が息が合うから。突然、そうでもない子が「お願いします」ってのも。

うちもね、組んでるM女の子たちが、もうお姉さんになってきてるんで、いつ引退するのも分からないから……。でも、たまに新しい子もやったりしますけどね。

—Vのお仕事って、ざっくり何本くらい出てましたっけ？ 北川プロさんだけでも相当数の作品に出ていた気がするんですけど。

そうですね、オムニバスとかも合わせると……自分だとちょっと分からないですね。北川さんには、だいぶお世話になりましたよね。

伝説の女王様が語る SM 今昔

—この本は、ちょっとノーマルとは違った性癖をお仕事にしている人たちの特集なんですけど。

すごく分かりやすく言うと、私もともと趣味でやってたんですよ。

—女王様って、そういう方が多いですね。

趣味でやってて、前の会社を辞めた時に、次の就職先が決まるまでの繋ぎでやってたんですけど、まさかこんなに長くてね。

こっちの方が長くなっちゃって。

—お勤めの間にも、趣味として女王様をやってらした？

そういうパーティー行ったり、そういう方たちと遊んだり。

—プライベートでお付き合いしている方を相手に、SM 的な行為をしたりとかもあったんですか？

まあ、変な人たちが多かったんですけどね（笑）

—何かが引き合っちゃったりするんですかね？

そうですね～（笑）

—「イヴさんだったら、虐めていただける」みたいな感じで寄ってくるんですかね？

なんで引き寄せちゃうんでしょうね。

—そのまま繋ぎの女王様を続けて、次の勤め先は探すことなく、もう女王様のお仕事を継続していくことになるわけですね。

もともと、その当時はアパレル関係の仕事をやってて、そっちの方に戻るつもりだったんですけど、まあ楽しかったんでしょうね。

私、管理職もやってたこともあるんですけど。若い時分に。

—イヴさんの若い時分ということは……、かなり日本の経済もイケイケの時代的ですね。

そうですね。でも、もうちょっと早くやってた方が良かったって思うこともあって。

若干、バブルが落ち着き気味の頃ですね。

それでも、今よりは全然よかったですけど。

—じゃあ、運命といえば運命なんですね。ステージの女王様としても、すっかり浸透した感じがありますし。

もし、他の仕事やりたいってなっても、引退はしないでしょね。このまま違う仕事に就いたとしても、ちょっと出てきたとしても。

バレないように気をつけるだけですな（笑）

—なかなかバレないでしょう（笑）

昔、東スポさんで連載してる時は危なかったですね。

—それは、バレたらいけない何かがあったんですか？

いやいや、全然大丈夫だったんですけど、もし私が違う仕事してたりとかだったら。

まあね、あんまり広い感じでやってても。まあ、でも、なんだかんだ狭い感じの世界ではありますから。

今はSMがオープンな感じになってきてるじゃないですか？ 25年前とは、全然違う感じになってますよね。

私が入ってきた時とは、かなり変わってきています。

で、今だと、みんなインターネットを見てるから、何でも見れちゃうでしょ？ いいのか悪いのか分からないですけどね。

—その判断は難しいですよ。メジャーになることで、あの頃の、淫靡な感じのSMが懐かしくなっちゃいました。

長いお客さん……年配の方が多んですけど、そういう懐かしい感じのSMが良い、っておっしゃいますし。

大っぴらというか、明るい、認められたSM……。それはそれでいいと思うんですけど、やっぱり私は淫靡なほうが好きなので、うっすら潜りつつ、活動している方がいいかなって。

—ちょっと不道德な感じがありましたもんね、昔は。今は、そうであっても大丈夫、みたいな。21世紀のSM感は変わりましたよね。

そうですね～。

だって、今日のステージにしても、あんな若くて可愛らしいお嬢さんたちがステージに出て括られて、そんなことはなかったですからね？

もっと、いろんなタイプの人が、私が入った頃にはいて、例えば、女優

さんもそうですし、プロでMをやってる方とか、やっぱりちょっとマニアな方って、もっとパンチが効いている方が多かったんで……。

たとえば綺麗だったり可愛かったりしても、色んな意味でパンチが効いてる方が多かったんで……。

——濃い方が多かったですよ。確かに今では普通のお嬢さん多くなってる気がしますね。

びっくりしますよね。

それが、やっぱり広がったことの良さなんでしょうね。スカトロ系にしたって、昔は全然いなかったけど、今はホントに多い……。

居なかった訳じゃないけど、なかなか口に出せないし。そういう趣味を大っぴらに言える場所がなかった。昔はちょっと情報も少なかったから、そういう場所に行くとか、雑誌とかじゃないと共有することが出来なかったんでしょね、結局。

——今は凄いですよね。今日のSMイベントでも、楽屋からトークライブが配信されています。

そうですね、昔じゃ考えられなかったですよ。

色んな楽しみ方が出来る世の中になってる。私結構アナログなので、いまだにスマホの使い方が危ないとか……。

女王様 AV とライブイベント

——今はやっぱりライブが楽しいですか？

そうですね、楽しいですよ。お客さんの反応がすぐに見れますから。

——その点がVとステージの一番の違いだと思うんですけど。お客さんの反応を見ながら、色々と気を使ってみる事ができますしね。客席の盛り上がり方に合わせて、ちょっと変えてみようかな、とか？

舞台上でやる時に関しては、私と相手のテンションが上がってないと、それは伝わらないから、まずそっちを優先しますね。

こちらが楽しんで、M女のテンションが上がってこなければ、絶対にお客さんに伝わらないと思いますので、まず、そこに全力を傾けるようにし

ています。

そのテンションが十分に上がってきたら、それがお客様にちゃんと伝わるようにしていくという感じです。

—見ているほうも、そこに引き込まれるわけでもんね。

見せることに捕らわれ過ぎてるのもダメだと思いますし。

まず、私が「こいつをどう責めようか」とか、「この子をどうしてやろう」とか、こちら側のテンションが伝わらなければ。

それをお客さんに感じてもらうのが大切だと思う。

業務的に、受け狙いだけでサラッとやってたら、たぶん、それは全く違うものになってしまうと思います。

—確かに、その通りですね。

M女のテンションをどう持って行くかというのは、ステージに限った話ではないですよ。

ビデオをやってる頃、私の場合、S男性のファンが多かったんですよ。

ファンの人たちは、私が出てるVを見て私の責め方を真似して、彼女を色々と責めるみたいなんですね。そういったファンの人の彼女に会って話を聞く機会も多かったんです。

例えば水責めって、前のシチュエーションの中でM女の気持ちを高めてからやるんですね。

このシーンを気に入った男性が、いきなり何の脈絡もなくザバーッってやったらいいんです。で、彼としては満足するんですけど、彼女としてみれば、いきなりやられるから全くテンションが上がらないという(笑)

そこじゃないんだよ、そこまでのプロセスがあるんだよ、ってね。

—SMには、そういう掛け合いみたいな気持ちのやり取りって、かなり重要だと思います。

男性って、ほんと、そこ下手だな〜って思いますよね。

—まあ、やりたいことだけ身勝手に……って男性は多い気がします。

やっぱり、そこで女心を考えながら組み立てるって、よっぽど出来た男じゃなければ、無理ですよ。

世の中の男性には頑張ってもらいたいです(笑)

——最近では、そういうプロセスを企てる若い子も減ってるんでしょうね。セックスに興味を示さない男の子も増えてきていますし、男子の性欲が衰えてるってことも聞きますし。

そうみたいです。

私のお客さんには、もちろん30代の方も普通にいますけど、だいたい50代半ばくらいから60代、70代、最高だと85歳とかいますけど、まだまだ元気ですよ。

ただ、お年を召してきて酔ってたりすると、けっこう色んなことを忘れちゃったり、同じこと何度も繰り返し話してたりするんですけど。全然元気ですし、若い人よりギラギラしてますね。

——確かに20代の若い子たちよりも、50代以降の人のほうが、性的な意味では元気な感じがします。

あと、女の子ね。

最近、たまにプライベートで女子の撮影会とか、趣味の撮影会とかやるんですけど、楽しいですよ。

——プライベートということは、今日みたいなイベントでCD-ROMを売ったりするためではなく、純粹に縛りを撮影して楽しむんですか？

ホントに、身内だけで楽しむっていう……。

——いいですね、女子は元気ですよー。楽しそう。

そういう秘めた感じで楽しむのが良いですよ。

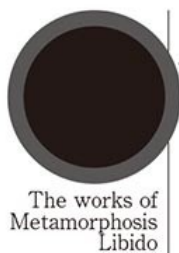
——そういった活動も含めて、イヴ女王様には、これからも長く活躍していただきたいです。

身体が動く限りは！

私もだいぶお姉さんになっちゃったから、昔みたいには身体が動きませんけども。長続きするように身体を鍛えていきますので。

——今日はありがとうございました。

こちらこそ、ありがとうございました。



変態のおしごと・パフォーマー編

手作り衣装で魅せる 元レースクイーン女王様

成り行きのままに女王様になって

レースクイーン出身という特殊な経歴の女流緊縛師である結月里奈さん。会員制の個人調教クラブ【りなわ倶楽部】代表。

Twitter アカウント @rinawa7878

—結月さんは、こういったSM系イベントのお仕事を始めて、今年で何年目になるんですか？

えっと、8年目ですね。2019年の2月でちょうど丸8年。

—なにか、周年的なイベントは何かやるんですか？

いえ、特には……

直前に何か思いつくかも知れない？（笑）

いえ、やらないです（笑）特に大げさには。いつも、何か区切りで、7周年の時にも写真集を作ったんですけど、ちょっと紙の写真集を出すくらいですかね。

—結月さんのお仕事は、今日のようなイベントでこういう写真集を販売していたり……

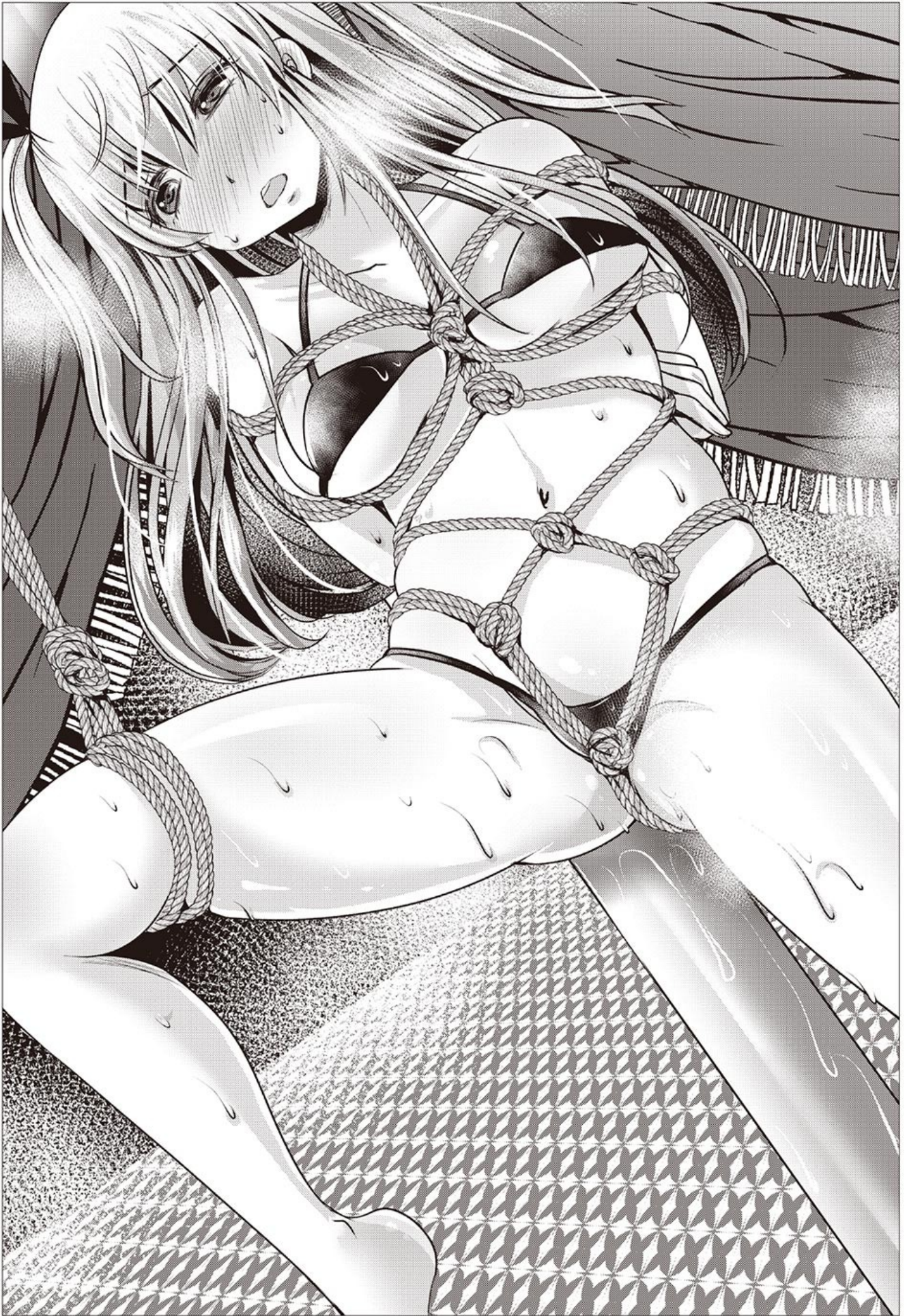
そうですね。あとは今日みたいなショーをやったり……、そういう感じですね。

—どういった切っ掛けから、そういう仕事を始められたんですか？

元々はレースクイーンをやってて、それで飽きてきて……。

どうしようかなあって思いながらプラプラしてた時に、レースクイーン時代の先輩が2丁目のSMバーで働きだして、「遊びにおいでよ」って言われて。

最初はどんなバーかよく知らなくて、普通に遊びに行ったらSMバーで、



イラスト：うすべに桜子

「あー、SMバーなんだー」って。

暇だったので、ちょっと遊んで帰って。

それで、レースクイーンっていう仕事をしてたから、着たことのないコスプレって少ないんですけど、本物のボンテージ衣装って十万円コースなんで着たことがなくて。

それで、「着てみる？」って言われて「着る着る！」って感じで。衣装着るのホント好きなんで。それでボンテージ衣装を着てみたら、スカウトされました。

月に2回だったら働けますって言って、月2で働いて。別に暇つぶしでいいかな？って思ってたんですけど、気がついたら、どんどん日にちが増えてきちゃって。

それで、店に入ってちょっと経った頃に……、日本の三大女王様の朝霧リエさんがプロデュースしてるお店だったんですけど、リエさんから、「縄、向いてると思うから、やれば？」って言われて。

縄は、子供の時にSM雑誌とか見て「縛られてら、あはは」って笑って見てみたけど、それを仕事にしようなんて思ったことはないの。

でも、縛り方の先生の授業を受けさせてもらって。

その頃は暇だったので、料理教室かお花の教室に行こうかなあって考えてたんだけど、「あ、緊縛教室でいいや」ってなって。

緊縛教室に行って縛り方を覚えることにしました。

でも、その時の先生の授業って高かったから自分で探して、五反田にある別の所で習い出して。

そこで習い出して二日後くらいに、「縄を習ってるんです」ってお店で言ったんですね。そしたら、「来月誕生日だからショーやれば？」って言われて、何にも考えないで「そうですね」って言っちゃって。

それで、ショーをやることを先生に伝えたら、

「え！ 何言ってるんですか？ まだ本結びも覚えてないのに、何言ってるんですか！」って言われて……。

「そういえばそうですね」って。

でも、間に合うように教えてくれて、翌月にショーやって。

それで、当時私のM女をやってくれてた子が女王様の独演会の仕事を取ってきちゃって、それが更に翌月。2月に習い始めて、4月に独演会をやっちゃった……って感じなんですけど。

—猛スピードですね。現場の実戦で色々と鍛えられた感じですか？

そういう感じですよ。なんか、覚えるより先に仕事が入ってきて、何も考えないで「そうですね、やります」なんて言って。

—独演会ってというのが、凄いですよね

震災があった2011年の4月ですね。初めてです。なんかね、成り行きです。

—成り行きで流れに乗ってる内にここまで……

ここまで来ちゃって（笑）

—8年間の活動は、成り行きが多い感じですか？

そうですね。

初めてDX歌舞伎町に出たのも、震災の年の秋なんですけど、お店でお客さんを縛ったらDX歌舞伎町の照明やってる人で、その時は後手やっただけなんですけど、「え、縛れるんですね。じゃあ出ちゃえばいいじゃないですか」ってなって、それが何かも分からずに「そうですね」なんて言っちゃって。それで出た、っていう。

—その時は師匠に何か言われなかったんですか？

「もう、仕事取ってくるの止めてくれ！」って言われました。そういう成り行きな感じで。

こだわりの手作り衣装

—結月さんのコスチュームや小道具って、独特のセンスが光ってる物が多いですよね？

元々、衣装を作ったり着たりするのが好きだったので。

—それはコスプレイヤー的な感じですか？

いえ、レースクイーン時代に、自分のチームの衣装を担当してたんですよ、デザインなんですけど。

—もともと、衣装的なものに興味があって、レースクイーンも始めた感

じなのでしょうか？

そうです、そうです。

で、今は自分で作ってます。レースクインの時は経費出ますけど、今は出ないじゃないですか。なので、今は自腹で作ってます。

今日感じも、自分でプロデュースして。

いつもは、和装が基本ですけど。こういう和柄の衣装とか。和系はいつも自分で作ってるんですけど。

—手間掛かりそうですね—

あ、細かい作業が好きなんですよ。

—和柄の小道具いいですね。アダルトショップで扱ってもらえば、かなり人気が出そうですが？

あー、なるほど。

—外国人にも受けそうな感じですか。

あー、そうですね。確かに。

じゃあ、来年辺り頑張りましょう（笑）いやー、成り行きで8年ですかー。

そうですね。ホント、好きなこととして、遊んでるようなものです。

いや、まあ遊んでるのが一番良いじゃないですか。

—乳首の上に絆創膏をバツテンに貼って隠してありますね。このバツテン作るにも、色々こだわりがある訳ですね？

はい、衣装が色々あって。

—過去の写真を見ても、色んなバリエーションがありますね。

そうですね。下と上を組み合わせる。だから、組み合わせは無限大です。和柄の時は和柄のもの使うし。

今日はストライプのテープを使ってますけど、和柄のものもいっぱいありますよ。

—和柄のテープ自体も種類がいっぱいあるんですね。

そうですね。この写真で使ってるのは何だったかな……？ 相撲もあるよ。結構、変わったのがあったら、ファンの人がかかる。

—なるほどなるほど、「これ使ってー」みたいなね。

例えば、「歌舞伎見に行ってきたんですよー」とかね。マスキングテープだと色々あるんですよ。

これはハロウィンのやつで、マカロンだったかな？

—そういう細かい所にも、色々こだわりがあるんですね。

そうなんですよ。

そういう細かい、誰も気付かないようなところにこだわるのが好きなんです。だから、このバツテンも「衣装」って呼んでます。

—確かに。こだわりのバツテンですよ。

ふふふ。だから、みんな「貼ってる」って言ってるんですけど、これも衣装です。これで一枚の衣装です。

海外でショーをやらせてもらう時に、現地の生地屋さんに連れて行ってもらったことがあって。

やっぱり、海外のものになると違いますよね。

生地屋がヤバかった！ なんか、もうマツケンの衣装みたいな（笑）

見たことないような帯みたいな布とかいっぱいあって楽しかった。

—チャイナドレス的な華やかさのある感じですか。

なんで、海外に行く時には、生地屋さんとか連れて行ってもらったりしてます。

自分の会員制の『りなわ倶楽部』ってのをやってて。個人調教ですよ。で、私の場合は女装のお客さんが多いんですけど。

横浜のSMバーで、一日ママをふた月に一回やらせてもらってるんですけど。まあ、縛りたい人とかを縛ってあげて。

（写真を見ながら）この子も女装ですけど。

この時はクリスマスだから、サンタで縛りたい、ってことでこういう感じで。

あと、錦糸町で毎月やってる緊縛講習会で教えたりとかしてますね。

—女装の方は、自分で衣装準備ししてくるんですか？

はい、そうですそうです。みんな、化粧もちゃんと出来るし。

あとレースクイーンはとっくに辞めてるんですけど、キャンギャルは

まだ一年に一回のペースで続けてるんですけど、これも衣装を自分で作って。いつも、衣装と相方の女の子は私が決めていいよ、っていう契約なんで、そういう感じでやっています。

それと、韓国の大邸（テグ）ってところでボディペインティングの大会があって、そのモデルで出たんですね。

ニプレスと肌色のTバックだけ履いてて、あとは全部裸で。

——裸の上に全部描いてる？

うん。で、公園貸し切ったイベントなんで……フェスみたいな。

テグタワーがある公園でやらしてもらって。で、6時間かけて描いて貰ってるから、韓国のカメコがめっちゃいました。

こっちはステージで、発表とかさせてもらって。

まあ、うちのチームは賞とか取れなかったんですけど。こういうイベントで、日本代表みたいな感じで、それぞれのテントの中で描いてもらって、というのをやりました。

——へえー、色々面白いところで活躍されていますね。

あと、これは「ザ・ニンゲン」っていうバンドのMVに出させてもらったこともあります。「ゲームボーイズ・メモリー」って曲なんですけど、ゲームボーイを縛るのが一番難しかったです。引っかけりがあんまり無いので、ギターを縛るほうが楽でしたね。

——ギターの縛り方は格好いいですよ。

まあ、でも、ギターは初めて縛りましたね、さすがに。

あ、でも前に、なんの仕事か忘れたけど、急須を縛ったこともあるんですよ。難しかったです。ちっちゃくて。

あとは、お花の衣装とかも着たりします。

——元々、お勉強で服飾のこととかやってたんですか？

いえ、全然。

——完全に趣味？

短大は行ってたけど、英語英文学科で。何も勉強しなかった……って感じですけど。

——衣装作りは単純にご趣味なんですか？

はい。まあ、こういう感じで、たまにイベントとかで出していたりするんで。あとは、これ私がデザインしたんですけど、手ぬぐい。「リナワクラブ」手ぬぐい。「里奈の縄」で「りなわ」で、首吊りモチーフ。

『りなわ倶楽部』の活動自体はどれくらいなんですか？

何年やってるのかな？ 6年位？

まあ、本当に仲が良いお客さんだけ入れてるって感じですね、個人調教なんで。休みの日に、一人しか予約を取らせない、って感じで。

なるほどー。女装子さんたちが、また可愛いですよ。

——8年位やってると、相方のショーモデルさんもたくさんいますよね。

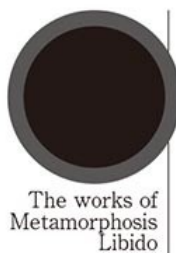
そうですね。私自分からスカウトするの苦手なんで「モデルやらない？」とか一切言わないんですよ。だから、向こうから来てくれた子しか使わないんですね。で、まあ会ってみて「この子はどうか？」って思っても、絶対に1回は使う。

それで、良い場合もあるし、悪い場合もあるけど。

一緒に2, 3回やってみて、半日とか寝坊する子は2度と使わない。そういうスタンスです。

——そういうスタイルだと、一緒にやってるモデルさんとは、もう皆さん長いですよ。

そうですね。みんな同期なの。



変態のおしごと・パフォーマー編

変態ガールズユニットの 全方パフォーマンス

インモラルなガールズユニット

びっちでインモラルなガールズユニット『インモラリスター』のメンバーである山村茜さん。変態アイドルの活動について聞いてみました。

Twitter アカウント @akane_yamamura

——山村さんのキャッチコピーは『性なるラブリークソクソビッチ』とのことですが、結構ビッチなんですか？ 量的にクソクソビッチなのか、質的にクソクソビッチなのか、ちょっと気になるのですが。

どっちもなんです。でも最近は普通かな？ いろいろと、結構な量をこなしているうちに。

——インモラリスターの新年イベントのフライヤーに『姫初め』とありますが、これは……？

はい。私達、ライブのこと本番行為って呼んでまして。

そんな関係もあって、年が明けて一発目のライブなので、このイベントは姫初めって呼ぼうか、っていう。

——コンセプトから面白いですね。

ボディに書き初めしましょうか、って。蹴りお年玉って、金蹴りやろうか、って、色々考えてます。

——へえー（笑）

ちょっと笑ってんじゃないの?! 人のとこのイベント笑っちゃってんじゃないの？

——いやいやいや。関心しているんです。

真剣です！ うち。真剣なんです、これが。

——アイドルって凄いなあ。



イラスト：コバヤシテツヤ

だから、アイドルみたいなキャッチコピーがあるんです。『性なるラブリークソクソビッチ』と『愛あるセックスモンスター』。

—相方の成澤ひなみちゃんが『愛あるセックスモンスター』？

はい、セックスモンスターです

—なるほど。

苦笑じゃねえかよ（笑）

—いやいや、そういうの大事ですよ、キャッチフレーズ的なものはいっぱい言っておかないと。印象づけるのは大変ですから。質的にクソクソビッチなのは、いつ頃からなんですか？

クソクソビッチなのは、いつからだろう？

初Hはそんな早くないです。17とかなんですけど。

—でも、その時は、別にそんなビッチでもない？

でも、その時はサクッと。サクッと、こいつでいいやみたいな。とりあえず、貫通しておこっか、っていう。

—まず、貫通しておこうか、って軽やかですね。

オナニーを始めるのは早かったんで。

—オナニーが早いということは、かなり色んな妄想が頭の中にあった感じですか？

ありました、ありました！ なので、あと邪魔なのは膜だと思ったんで。ちょうど手っ取り早く貫通させてくれそうな子を見つけて膜を失ったら、ちょっと違うこういう方向に。

もう色々行きやすく。オーソドックスに、まず膜はね、普通に開けちゃおうと。

—普通な感じで開けておいて、そこからの、クソクソビッチに？

そうですね、色々やりました。スワップもやったし……。

—色んな性癖と触れ合っているうちに、質が変わっていった？

そうですね。まあ、量より質がいいかなあ、って思って。

—このパターンいいぞ、っていうのは何だったんですか？

何が良かったっていうか、私踏まれるのが基本大丈夫な方で。

—踏まれる……？

頭を踏まれたりとか踏んだりするのが大好きで。

—それ、気が付いたのは、どうタイミングですか？ 普通に暮らしてて気が付かないですよ？

—そうですかね (笑)

—ええ、普通に生きてると気が付かないと思いますよ。僕もこういう商売してないと、叩かれたり金蹴りされて「いい！」ってのは……

たしかに。でも、私が初めて頭を踏まれたのいつだろう？ 10代の時だったと思うんで。

—へえ、そうすると、こういったショーみたいなイベントの中でではなくて、完全にプライベートですか？

—関係ない関係ない。一般の方。

—じゃあ、普通の人と、普通の交際の中で？

—そうそう、こういうの好きだなんて。

—じゃあ、相当の数をこなしている中で、そういうドS系の人が出たと。おそらく、頭を踏んだりだけじゃないですよ？

—もちろんもちろん。

何が多かったかなあ。たとえば、有名デパートの男子トイレでしゃぶらされたりとか……。

—有名デパートの？

—はい、有名デパートの。男子トイレで。

あと、マンションのエントランスに全裸で放り投げられたりとか。

—え？ 放り投げられる？

「すげえ！ たまんなくない！！」って思って (笑)

—それ、マンションの中から放り投げられるってことですか？

—そう、中から中から。

—最近のマンションだとセキュリティが大変でしょ？

—そうそう。鍵が無いと入れないんですよ。インターホンを押しても反応が無いから、どうしたものかと思って。

—ひどい (笑)。でも、そういう経験があったからこそ、こういう世界を楽しめるということなんでしょうか？

そうなんでしょうね。そこまで考えてないけど。

—もともと、あった可能性もあるのかも知れませんね。

もともと、秘めてたと思うんですよ。

—そういう貴重な経験を積んできた茜さんが、どういうきっかけで経験を活かした仕事を始めるんですか？

もともと 風俗のお仕事がとっても長くて、今14年目になるんですけども、9年を超えた辺りくらいに、たまたま始めたツイッターで、リツイートとかされてくうちにフォロワーさんが増えて、で、こんなお仕事ありますよ、なんてお話をいただくようになって、こんなことに。

—風俗のお仕事はドノーマルの？

色んなところに居ました。SMもいたし、M女もやってましたし。

あとはまあ、先生とか。私が先生やるんですけど。イメクラで。

他にも、「萌え萌えキュン！」みたいな学園系のお店も、若い時にいたときもあるし。

—へえー、そこからのインモラリスター的な。インモラリスターとしての活躍はどれくらいになるんですか？

インモラリスターは、今1年半くらいですね。

—けっこう長いですね。

そうですね？ いや、でも、まだまだ1年半。今は、オリジナル曲が4曲。

—オリジナル曲とかあるんですか？

あります

—それは、自分たちで作るんですか？

自分らで。作曲だけ外注で、作詞だけ自分たちでやらせて頂いて。

—作詞は、二人で作ってるの？ それとも茜さんが？

基本は私メインで、彼女にもちょっと協力してもらって。

—じゃあ、ライブ的な活動……本番行為と呼ぶんでしたっけ？ 結構やったりするんですか？

本番行為も、やったりしますね。月に大体、3～4本。まあ、その月にもよるんですけど。今はライブだけじゃなくて、トークイベントだったりとか、そういうお話メインのイベントにもお声がけいただいたりとか。

このフライヤーは、うちの単独イベントが1月6日にあるんですよ、って告知なんですけど。

——……金蹴りお年玉……。

これは、ホント酷い（笑）

完全にお年玉ですね（笑）

こういうのは、内容を完全に私が考えて「この内容いける？」って、後でうちの子に確認するだけなんで。

——じゃあ、茜さんがプロデューサー的なポジションで？

基本的には、そうですねー。

——こういうイベントの段取りを組むのも、茜さんのお仕事なんですか。

はい、そうですね。

——こういったファンとの交流イベントみたいな活動とかは、どれぐらいの頻度でやってるんですか？

まあ単独でやることはそんなに無いです。数ヶ月に1回とかだと思っんですけど。

それ以外は、ブッキングのライブに呼んで頂いたりとか。そういった形で、ライブのオープニングとか。

——地下アイドルさんとかの対バンとかもあったりするんですか？

えっと、アイドルさんが、自分の娘……くらいの子はいないんですけど、娘でもおかしくない子とかいるんですよ。お母さんと年齢が変わらん、ってこともあって。

——最近のアイドルさんだと、10歳くらいの子供とかもいますもんね。もっと小さい子がいるグループも、たくさんありますもんねー。で、こっち側のお仕事は……

こっち側のお仕事は、だから、規制が少ないんで楽なんですよ。怒られることとか、あんま無いじゃないですか。

うちらはもちろんニプレスだけなんで、10代の子がいると、「わあ〜、凄い衣装ですね〜」とか言われて。それしか言えないよね〜みたいな。

——アイドル系には規制みたいなものは、無いんですか？ 地下アイドル系とはいえ。ニプレスまでなら大丈夫とか？

ニプレスは……どうなんでしょ？ でも、前例がないんで。

—でしょうね～。

なんで、私達がこの格好で出てきて「ダメです」って言われても、「え？なにが？」って顔してれば。

—プロモーターの方も分からないですよ。

だから、止められないんですよ。次からは呼ばれないかもしれないんですけど。

「こういうユニットだったんだ！」って呼んでから気付く（笑）

下調べしてない方が悪いよ、って顔してます。

—そうですか～。そう考えれば、確かにこっちの方が楽ですよ。

そうですそうです。皆さん分かってらっしゃるので、ホント最後まで出しちゃっても怒られなかったりするんで。

—むしろ出したい（笑）

なんなら、別に（笑）

—なるほど～。じゃあ、プライベート的には、イかれてる方のプレイと
いうか、性癖が偏っている方が好きだったり？

好きです好きです、絶対に。ノーマルだったら、別にやらなくても。まあ、どっちでもいいかな、って。

—やっぱり踏まれたり。全裸で放り出されたり（笑）

そうですね。スパンキングとかも好きです。

—年明けイベントに話を戻すと、この『乳首酒』っていうのは？

乳首酒ってのはですね、実際に、乳首酒っていう日本酒があるんですよ。

私の知り合い、直の知り合いではないんですけど、このイベントを開催する飲食店さんの知り合いの酒屋さんが出してるお酒で『乳首酒』ってお酒が実際ありまして。

その酒をですね、注ぎますよね。ニプレスを取りまして、漬けて「ああっ！」ってシェイクして、「はい、どうぞ」って。

—じゃあ、その瞬間は乳首ポロリが

してますし、乳首が実際に漬かっててますんで、間接的に乳首のエキスを、っていう。

—ああー、それはめでたいですね。

はい、そういう乳首酒ってのを、ちょいちょいこのイベントでやらせて頂いてまして。

—なかなかエロいドリンクですね。こういうイベントにくるお客さんて、演者さんのためにお金を使いたくて来ますもんねー。

そうですね〜。で、やっぱりイベントの箱（イベント会場。この場合は飲食店さん）にもお金落とせるので。

で、「アルコール飲めないよ」ってお客さんは、うちらお酒強いんで、「じゃあお前の酒私が飲むよ」って、そういう感じになってます。

—なるほどね〜。記念撮影と、チェキとはまた違うんですか？

記念撮影は、普通のカメラで、みなさんと。チェキは、ボディ書き初めで書いた文字の横でこうやって撮れる、二人で。ツーショットなんで。

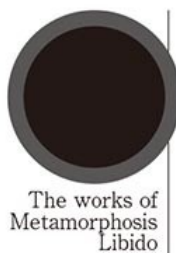
それと、ハーレムチェキってご存知ですか？ グループのメンバー全員と、ファンの方お一人で撮影するチェキをハーレムチェキっていうんです。そのチェキを3Pチェキって呼びまして（笑）

ハーレムチェキって、うち呼ばないんです。3Pチェキなんで。

「じゃあ、どうしよっか。上と下どっちいく？」なんてメンバー同士で話して、「じゃあ私は疑似フェラするわー」みたいな。

「じゃあ、私どうしよっかなー。疑似で頭に乗っかっちゃうわー」的に、顔騎したりして、「顔写ってなかったね〜」なんて（笑）

お客様の顔が写ってなかったりするんで（笑）



変態のおしごと・パフォーマー編

ナチュラルボーン女王様の ジェットコースター人生

料亭 SM で飛び交うハンパないチップ

幼少期から緊縛を楽しんでいたという生まれながらの女王様である、さかき藍（あおい）さん。芸者さんなど様々な経歴を持っています。

Twitter アカウント @aoi1913

今日のショーのコンセプトは、和の緊縛の世界とは違い、絶対的上下関係の西洋 SM を乗り越なすさかき藍って言われたんで、西洋的ってどんなんだろうって思って、ちょっと近づけてみようかと。

形は、西洋……

そうそう、近づけてみようよ。

—フィジカルな責めを多用する感じですか？

まあ、メインはムチですよ。ロウソクとか、面倒くさいじゃないですか。いや、好きなんですけど。凄い好きなんですけど……今日は、ムチを持ってきました。

あと、水攻めやりたかったんですけど、後の人が大変でしょ？

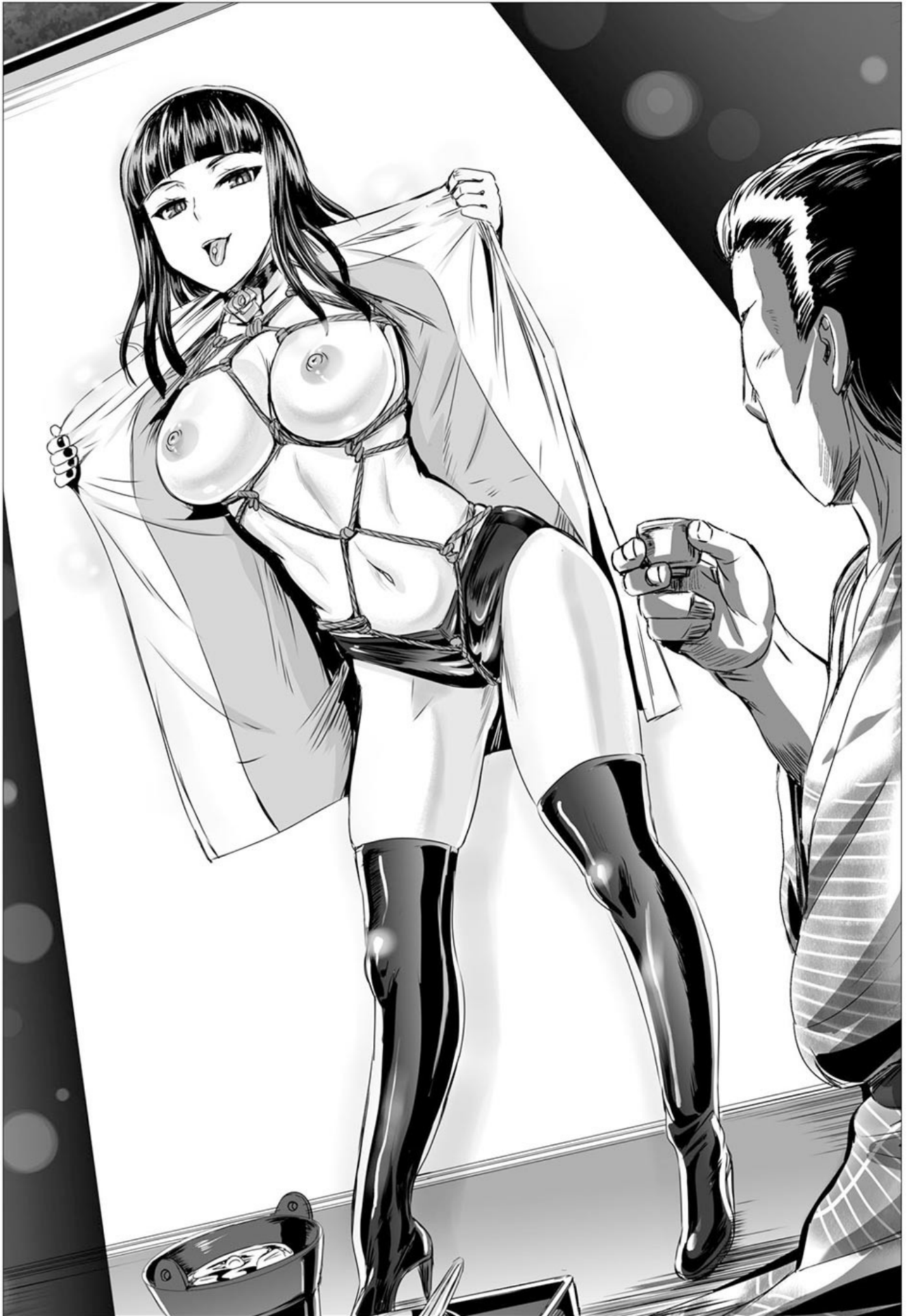
そういうことも含めて色々考えたら、ロウソクも大変でしょ？

飛び散った水を拭いたり、床に付いたロウ落としたりするの。なので、そういうの省いていって。

それと血とかも嫌いな人いるでしょ？ 男の人は血が嫌いな人が多いしね。なので、血とかも省いて、ムチかな……みたいな（笑）

他のパフォーマンスとのバリエーション的にも。

和風の縛りとはまた違う感じになるので、そういう意味ではバリエーションあるかな、と。



イラスト：菅野タカシ

子供の頃から緊縛マニア

なかなか好きなことと言っても、個人の趣味じゃなくて、皆さんの見たい内容に合わせていく感じになるので……。

せっかくね。見に来てくれてるわけだしね。

それに、お金を少なからず結構な額を払って、見てくれている訳なんで。——さかきさんも長いことやってて、ショーで見せる内容の引き出しも多いでしょうからね。

まあねー、楽しくやっていますからね。

——こういうお仕事を始めてどれくらいになりますか？

ショーですか？ 女王様ですか？

女王様は、99年に五反田のSMクラブで働いたのが、言ってみればプロの門戸ですよ。

クラブで、プロの門戸を叩いたのが99年で、ショーに出演するのは2005年なんですよ。

2005年に、風見蘭喜さんがお客さんとして来てるイベントで、何故かショーをすることになって。

その時は蘭喜さんのことを知らなくて、そこで蘭喜さんに、
「あんた、えらいゴツイ〇〇するね」

キツイねって言われて、「なんだ、このおっさん??」って思ったのが、今思うと、風見さんとの笑い話。

その縁から始まって……。

それからは、色んなショーに出て……っていう感じかな？

——お店に出る前の、アマチュアの時代の変態歴というのは？

幼稚園の頃に弟を縛ったのが最初です。

うちが神社で、縄が余ってたんですよ。遊び道具なんです。

しめ縄を作るのに、大量にあるんで、で、投げ縄ごっことかするのが遊びだったんですよ。

で、泥棒を捕まえる時みたいにグルグル巻きに縛ったのをいかに抜けるか、みたいな遊び。

子供なんで、まあやりますよね。そういうので遊んでいて。

それで、そうなると後ろ手になるんですよ。面白いでしょ。後ろ手でグルグル縛るじゃないですか。でも、普通に巻いただけなら抜けるじゃないですか。そうになったら、カンヌキいるんです。

でも、子供だから、カンヌキっていても、片方にカンヌキ寄せると、一本抜けるんです。そうすると、また抜けないように工夫してズーッと続けていくうちに、だんだんと緊縛の基本的な、後手の形に近づいていくんですよ。もちろん子供なんで拙いですけどね。

それが子供の頃からの変態歴。

あとは、お仕置きがあったんですよ、お家で。

百叩きとか。

で、高校時代に、私一年生の時に規律委員長になったんですよ。停学退学の取り消しとかがすぐ出来る立場だったので、みんな来るんですよ、取り消ししてくれて。

で、悪いことしたんだから、当然お仕置きを受けて、良い子になる、もう止めるって言ったら、判子押してあげる、みたいな。

—それは学校内で？

学校内で。

立場を利用して（笑）

パワハラみたいなもんですよ。ただ、SMって言葉は知らなかったんですよ。

大学に行ってからですね。99年に大学に進学して、どうも違うらしいって知って、調べたらSMクラブが出てきたんですよ。で、5月のGW明けにリクルートってあったので、行ってみたんです。

日常的にやっていたことが、…仕事としてあるということに……気づいたんですよ。[おおっ!]みたいな。

—ナチュラルな流れで女王様になったわけですよー

まあ、なんというか、環境が整ってたって感じですかね。そういう意味だと。自然な流れですねー。

自然なんですよー、もうホント。

ただ、スカトロだけは分からなかったですよ。今はプレイの一つとしてやってますけど。スカトロを理解するのに時間はかかりました。20年くらい女王様をやってて。

喜んでくれる人がいるから……相手が喜んでくれるから何となく理解はして。本質的なところは理解し切っていないけど……。

自分にはその趣味がないから分からないけど、まあ、喜んでくれるんだったら、良かったんだなあ、みたいな。

「ふーん、これが良いんでしょう？」みたいな心からワクワクする感覚には、まだなれないんですよ。そんな感じ。

——相手の要求に合わせている感じですか。

だから、SMクラブに勤めてからも、単純にプレイだけをしていたわけではなくて、結構、高級料亭みたいな場所で芸者もしてました。

そこで姉さんとレズビアンショーするとか、縄のショーするとか。料亭だと梁があるので。

——そういう和風建築だと縛りが似合いそうですね。

そう、議員の人とか、芸能人とかが結構いっぱい来る所で、ハメ外して遊んで。私、酒はガバガバ飲むので……。

——危なそう（笑）

お酒も飲む、おしゃべりする、芸出来る……。

で、私、お琴も詩吟も段を持ってるんです。で、色んなお座敷に、姉さんたちから呼ばれるんですよ。「ちょっと、藍ちゃん呼んできて」みたいな。ヘルプで入ることが多くなるんですよ。この感じだから、お喋りも持つじゃないですか。そんな便利な感じで、呼ばれることが多くて。

賑やかですよ（笑）。ガヤです、ガヤ。

——紐持たせてやれば、グルグル縛ってショーもできるし。ちなみに、そういうお座敷で、お客さんから「縛って」というリクエストがあったりはしたんですか？

はい、ありますあります。

お座敷のショーって、すごく短いんですよ。10分15分くらいで、終わるとすごい一万円札とか入るんで。芸者としての時給は5000円だった



イラスト：秋月たかひろ

んですけど、チップの量が半端ないんです。

一つのお座敷で、10～20万くらいいくんですよ。で、色んなお座敷に凄い呼ばれるので、へ口へ口になるんですけど……。

—正規の報酬は要らないぐらいの金額ですね。

ホント、そんな感じですね。そのかわりお金には無頓着で。

まあ、無頓着な人の所にこそ入ってくるのかもしれないよね、お金は。

でも、今思えば貯めとけば良かったな、とか思いますね。

—まあ、若いうちのことですからねー。

人生ですよ、山あり谷ありで。

そういうお座敷仕事で一日に100万稼いでる生活をしていたと思えば、水道が止まるくらい困窮した時代もあるし。

「なんだろう、水道止まったな？」みたいな。水道って最後に止まるんですけど、本当に止まるんですよ。

—ライフラインとして最後の最後らしいですからね。

本当に、チョロチョロと出るには出るんですけど。その時は「あ、私死ぬな」って思って。

—いやあ、本当にジェットコースターみたいだ……



変態のおしごと

The works of Metamorphosis Libido

女の子の服を着る男の娘
女装子さんたちの変態リアル



The works of
Metamorphosis
Libido

変態のおしごと・女装子編

18cmの巨大なペニクリ 逆アナル専門の女装子さん

—まず自己紹介からお願いします。

椿カリンです。いま22歳で、『チェンジリング』というお店に在籍しています。

—『チェンジリング』っていうのはどういうお店ですか？

チェンジリングは、基本的にはニューハーフが在籍するお店です。自分みたいに女性ホルモンを打っていない「ノンホル」の男の子は、2割くらい在籍してるかな？

—ニューハーフヘルスみたいな感じになるんですか？

そうです。

—そのお店で、カリンさんのポジションは、どういう感じになるんでしょうか？

自分は逆アナル専門のキャストになるので、お客さんのアナルに入れる専門になってます。

毎日毎日お客さんのアナルに入れ続けてるんですが、自分に来るお客さんは、だいたいM性感に行ったり、自分で大人のオモチャを買ってお尻に興味を持った人ですね。今度は本物でやりたいなって思ったお客さんがほとんど自分のところに来るイメージですね。

—お客さんのアナルには、何を入れるんですか？

お客さんのアナルに、自分のペニクリを入れるっていう事になります。

—そのペニクリがすごい！って伺ってるんですけども。

そうですね。自分はサイズが大きいを売りにしてやっているのです。

昔から自分自身でも、サイズが大きいなっているのは分かっていたので逆アナに特化しました。

新宿に逆アナの入れ方とか、アナルのほぐし方とかを習えてくれるとこ



イラスト：菅野タカシ

ろがあって、そこに習いに行きました。

サイズが大きいので、ちょっとだけアナルをほぐして挿入するのでは痛いかと思います。10分くらいマッサージでほぐして、それからペニクリを入れて気持ち良くなってもらうっていう感じですね。

—具体的に大きなペニクリのサイズを数字で表現してもらおうと？

勃起した長さは18センチですね。

—すごい！！ 長さが18センチあるっていう事は、太さもその長さについてくる訳ですよね？

細長いってわけではないので。

—それは確かに10分以上マッサージが必要になると思うんですけど、指を全部お尻に入れて入れて広げるようなレベルなんですか？

全部は使わないです。指2本で時間を掛けて慣らしていだけで、大体ほぐれてきます。爪とか骨があるので、指3本とか使うと痛がる人がいるので、指は2本だけ。それで肛門の筋肉はしっかりほぐれますから、3本でぐりぐりやるより痛くないです。

—なるほど。物理的に広げるのではないんですね。

お尻の周りの筋肉をほぐしてあげるんです。ほぐしてあげて動きを柔らかくした状態になったら、入れてあげるっていうイメージですね。

—10分かいたら割とすんなり入るもんですか？

割とすんなり入りますね。入れた瞬間は若干痛いんですけど、しばらく入れておくと……だいたい1分ぐらいでお尻が慣れてくるので、そこからはみんな痛みについては大丈夫ですね。

—その後はゆっくり動いていくうちに、お客さんの方は慣れてくると。

そうですね。

—物理的にこじ開けるんじゃなくて、ゆっくり時間をかけて筋肉を柔らかくするんですね。その技術を教える所があるっていうのも、またひとつびっくりなんですけども。そのアナル開発技術の伝授を専門にやってる方ではないんですよね？

そうですね。

—アナル性感の方なんですか？

アナル性感というか……。アナルの構造って人それぞれ違って、アナルセックスに向いてる人もいれば向いていない人もいるので、向いていない人がいかに痛くなくやれるかっていうのを教えてくれるんです。

—では、その方もカリンさん以上にいろんな肛門を……？

そうです。

—ニューハーフ専門というか、逆アナルをする人にとっては、割と一般的な知識としてそういう人が知られているのでしょうか？

いや、あんまり知られていないですね。

—その方もやっぱりニューハーフの方なんですか？

男性なんだけれども、中性的な男性……という感じですね。

—そういう修行を積まれても、挿入するのが大変だったアナルってありました？

やっぱりどうしても痛みを感じてしまうアナルっていうのがあって……。

まずお尻の穴の形には大きく2種類あって、縦割れのアナルっていうのは上下に伸びやすいので入れやすいんです。でも、まん丸のアナルの人は360度アナルを広げてあげないと伸びないんです。

アナルが気持ちいい人って、中が空洞になってるんですよ。こういう人は広がって行ってくれてるんですけど、奥までずーっと狭い人がいるんですよ。アナルの構造上、そういう奥までずーっと狭い人はしっかりと広げてあげても痛くて。こういう人は、奥まで入れすぎないようにしてるという感じですかね。

—そういう方も、自分で前立腺を開発されてたりするんですよ？

大体みんなM性感に行ってますね。M性感、もしくはSMクラブに行っ、指を入れられたり、オモチャを入れられたりしてお尻に興味を持った人です。

—バリバリの処女アナルのお客様はいないんですか？

自分はサイズが大きいっていう売りしてるので、あんまり来ないですね。

—そんなにいつもいつもご新規のお客さんがいらっしゃる訳ではないですよ？ 新規の方は多いんですか？

リピートしてくれてる人もいますし、新規の人もかなりいるっていうかいま東京にニューハーフヘルスがいっぱいあって、どんなお店にも逆アナ

ルの子って絶対にいますから、いろんな人の逆アナを体験してみたいって
いうお客さんも多いですね。

——前立腺マッサージ器も、いろんな形状や大きさがありますから、それ
と似たようなものなのでしょうか？

お尻の快感には中毒性があるので、お尻感じる人にとってはもっと大き
いのとか、もっと気持ちいい体験ができるんじゃないかって、どんどん追
求する人が多いみたいですね。

——前立腺で高まっていく男性に対して、言葉で煽ったりするんですか？
それとも物理的な刺激を与えているだけでいってくれるんですか？

例えばペニバンを付けた女王様のアナルプレイだったら「感じてる顔が
かわいいわよー」とか言いそうな気がするんですよ。女装ヘルスの方だと、
どういう風な形で運んで行くのか気になって。

自分の場合は痴女プレイとかS女プレイが好きな人へは、言葉責めをす
る事もあるんですけど 大体8割方は『ガン掘り』してほしいという方が
多いので。

そういうメンタル的な事ではなく、いろんな体位でやりたいっていう要
望のお客さんが多いので ガンガン突いたり、バックでやったり、寝バック
でやったり、いろんな体位でやりますね。

——やっぱりお客さんの反応も、体位ごとに違うんですか？

やっぱり人それぞれで好きな体位があるんですけど、ベーシックな正常
位が好きっていう人が多くて、より上級者な人は寝バックで掘られるのが
好きみたいです。

お客さんがうつ伏せに寝た状態で、自分が覆い被さって上から入れるん
です。重力もあるので、寝バックが一番奥までググっていくんですけど、
すごい上級者の人はそれが好きっていう人が多いですね。

——ぐっと奥まで届いた感覚みたいなのが、18cmのペニクリで分かるもん
なんですか？

奥に届いてるっていうのはわかりますね。

——前立腺あるポジションみたいなのも？

前立腺は手前の方にあるんですけど、自分の場合は亀頭がくっきりして

るカリ太なので、前立腺を刺激してあげる時は、奥じゃなくて手前の方をゴシゴシ刺激してあげます。

—お客さんが気持ちよくなるのは、単純に前立腺刺激って訳ではないんですか？

そうですね。上級者のお客さんっていうのは奥までいっぱいいっぱいになるのがいいみたいです。

最初は奥を突かれるのが痛いって人が多いんですけど 上級者は奥が気持ちいい人が多くなるので奥まで突いてあげるようにしています。

—アナルに入れる前のお客さんの腸内の洗浄は、お客さん自身がしてくれるんですか？ お店に来てから洗浄する？

自分の場合は基本的に自分で浣腸をしてあげます。自分の場合シャワ浣は出来ないの、シャワ浣は禁止にしてるんで出来ないんですけど、アナルが痛くなりやすい人は、シャワ浣をする事で後ろの筋肉がほぐれるので痛い人はシャワ浣するのいいと思います。

—シャワ浣っていうのはどういう事でしょう？

シャワーのヘッドを外して、お尻にお湯を直接入れて綺麗にする洗浄の仕方なんですけど、何回か繰り返す事で筋肉が解れるので、痛くなりやすい人の場合は家でシャワ浣してから来る人が多いかな。

—ほぐれる筋肉っていうのは、肛門周りの筋肉？

肛門の周りの筋肉が一番切れやすいので、ほぐしてあげます。

—中の方は痛覚がないみたいですがもんね。それでもやっぱり奥まで行くと痛いっていうポイントが？

奥まで行くとガンンって当たると思うので。

ガンボリ希望者にはゴツゴツ行く感じですけど、そうでもない方には柔らかくというかそこまで奥までは入れずに、普通の正常位とかしてます。

—ガン掘りする時って、18センチの全体を埋めていく感じで、奥まで行くんですか？ それとも余裕の残し？

いちばん奥まで入れたなっていう時でも、1センチくらいは余ってる気がします。

—ガン掘りしている時には、お客さんってどういったレスポンスになる

んですか？

だいたい頭が真っ白になったとか、足の震えが止まらないとかですね。すごい声を出しそうとかいうイメージがあるけど、逆に頭が真っ白になって何も声が出ない場合が多いですね。震えが止まらないとか。

——じゃあ特に「カリンちゃんサイコー！」みたいな事を言って絶頂する訳ではなく……？

何か言ってる人もいますけど、どっちかというとな頭が真っ白になって何もできなくなる人が多いんじゃないかな？

——そういったお客さんは、あらかじめアナル性感でそういう感じ方も鍛えられてるんでしょうか？

だいたいM性感に行ってるみたいです。M性感に行ってるとか、アナル歴10年以上の人がほとんどです。自分のお客さんの層って多いのが40～60代で、時々70～80代の人ってなってくるんですけど、普通のセックスに飽きたとか、自分のおちんちんの勃起が悪くなったからお尻に興味持ったという切っ掛けから、M性感などでお尻の開発を始めて5年とか10年とかお尻やってる人が多いですね。

——ドライオーガズムの流行などもあってお尻の快感を追求する男の人は増えているような気がしますけど、カリンさんが逆アナル師をしている期間で、その実感というのがありますか？

確実に増えてる気がしますね。

——逆の方をやると思った事がありますか？ 女装して挿入されるというか、ご奉仕するというか受け手側になるっていう事は？

女装をやり始めた当初は試してみたことはあったんですけど、何回かやってみたことはあります。

自分でやってみると、アナルの構造上、痛いアナルだと思ったんですよ。受けるほうは合わないかなと思いつつ、最初から逆アナする機会が多かったんで……大きいからそれでやってっていうお客さんが多かったこともあって、逆アナに特化して、それで逆アナのスキルを上げていった方がいいんじゃないのかなって。

——性癖的な部分でもっていう事になるんですか？

そうですね。個人的な性癖としては、入れてほしいとかはないですね。
——個人的な性癖について掘り下げさせてもらいたいんですが、どういうきっかけで女装を始めたんでしょうか？

元々、女装やりますって言って女装を始めたんじゃないくて、男性のまま
で男性にサービスする『ウリ専』っていうものがあって、スタートはその
ウリ専で入ったんです。

けどウリ専で売れる子ってのは、男らしい人であったり筋肉ムキムキの
子が売れるのがウリ専であって、中性的な子ってのはあんまりウリ専の中
では人気がなくて……。

——ウリ専の方でもタチとして？

タチが似合ったので基本的には。

ムキムキ、マッチョのタチの人に比べると売れないということで、自分
の居たお店のマネージャーが女装が向いてると、女装・ニューハーフのお
店に入れてくれて。

それで、自分もそっちの方がしっくりきたし、女装も好きっていうのに
気づいたので。それまでは一切なかったんですけど。

——元々は女装に興味がなかった？

女装には興味がなかったです。

ずっと中性的とは言われ続けて……小学生の時から言われ続けてきたの
ですが、まったく興味はなかったので、ヒールとかも履いたことないですし、
化粧もしたことがない状態から始めました。

——女装は独学で覚えたんですか？

女装は独学でありつつ、メイク自体はやっぱり独学は難しいので、友達
がメイク専門でやってる子がいてその子に教えてもらいながら メイクは
メイクスキル上げていく感じでしたね。

——そういうやって、色々と教わりながら化粧品とかお洋服とかを揃えて
いるうちに……？

化粧をするのが好きになって、ヒールを履くのが好きになって、ヒール
履いた状態でスカート履くのが好きになって、清楚系の白いブラウスを着
るが好きになって。

今の自分はそんなキャラだと思うんですけど、毎回白系のブラウスにスカートにヒールを履いて…っていうキャラが出来上がった感じですね。
—なるほど。どれくらいヒールをお持ちだったりするんですか？

ヒールは、今は6～7足ぐらい持ってます。男性なので、やっぱり足が大きいので。

25センチ26センチまで出してくれてるメーカーがあって、だいたいそのお気に入りのとこで何足か買うかなって。

—かりんさんの足のサイズは？

履いてるヒールは25.5cmくらいです。

—それぐらいならギリギリありそうですね。最近の女性だと大きめのサイズの方が多いと思います。服とかはどれくらいのペースで増えていくんですか？

服は、そんなに買わないです。スカートは1か月にひとつとかっていうレベルですけど、上のブラウスとかは1か月に2着か3着くらいは買ってる感じですね。

—そのブラウスはかりんさんにとって仕事着ってことになるんですもんね。仕事着って事は汚れたり痛んだりもしますか？

いえ、仕事の際はそんなに汚れないです。どちらかというと、自分のお客さんの層としては、一般の層のお客さんとは若干違うので……、服を着たままプレイすることはないです。会って色々話すんですけどすぐプレイしてほしいという方が多いので。

—たしかに着たままハメるわけではないですもんね。

すぐ脱いじゃうから、どっちかというとな着の方がいっぱい持っていたりしますね。

—大変そうですね。女性の下着って高いじゃないですか。

値段も高いし、今は普通に店で買いますが、最初は店で買うの緊張しながら緊張してたけどって感じですけど、まあ慣れました。

—女装の初心者の方だと、通販で買う方も多いみたいですね。

通販でもいいんですけど、やっぱり実物見て買いたいです。

—実物を見ないと材質やデザインが画像と違ってガッカリしたりします



イラスト：にゆくす

もんね。下着の保有数はどれくらいになってきたりするんでしょうか？

数えたことないから、どうでしょう……最低でも25種類以上は持っていますね。

—お仕事に行く椿カリンじゃなくて、プライベートの時はそういうのは着用したりします？

プライベートだと時々女装する事はありますが、まあ大体そういう場合も基本的に椿カリンの時と同じような感じですよ。基本的に白いブラウスにスカート、みたいなスタイルです。

—女装した時ってのはどういう風なプライベートの過ごし方になるんですか？ おでかけとかしたくなるんですか？

おでかけもしますし、家の中にいる時も女装して過ごすことがあります。

—おうちで過ごす時に女装するのは、どういう気分の時なんでしょうね？

どうでしょうね……何となく女装したい気分の時かな。特にこれという理由ない感じですよ。そういうとき女装の場合は、あまりメイクに時間を掛けませんね。普段の仕事に行く時だと、メイクで1時間くらいかけてます。プライベートで女装する時は、軽い感じで30分くらいで仕上げちゃうことが多いです。

—お出かけする時はどういう所に？

普通に出かけてます。映画を見に行ったり、洋服を買いに行ったりする感じですよ。

—なるほど。下着を買ったりするときも、女装してる時の方が買いやすかったりするんでしょうか？

それもありますが、男性の姿でも買っちゃいます。

—男性のままの姿だと、お店の人が怪しんだりとか、変な目で見たりされたりしませんか？

最初は大変でした。でも、それはこちらの気分の問題で、取り越し苦労って感じでした。お店の人は普通にお客さんとして対応してくれるので、だんだん男性の姿で買うことにも慣れました。

普通に「タグはずしてもらっていいですか？」とか、レジでお願いしたりもします。

——女装される方は、女装することで同性なり女性なりから「チヤホヤされたいなー」っていう感じの方が多様な気がします。実際に女装が似合ってる方だとチヤホヤしたくなるでしょうし。カリンさんの場合は、そういう扱いをされたい感情はありますか？

どうでしょうね？ たぶん、そういう気持ちも何となくはあるかと思うんですけど、「チヤホヤされたい」って感覚は仕事で満足しているのかも知れません。

——いま交際している異性なり同性なりってのはいらっしゃるんですか？

今はいないですけど、昔は女性とも付きあっていました。20代になってからは男性だけです。

——女性とも交際していたことがあるんですね。カリンさんがウリ専に努めるまでの恋愛遍歴について、お話を聞かせてください。

元々が、やっぱりそういう風だったっていう……そういう風ってわかりますよね？

たぶん小さい頃、小学校の時から同級生の男友達と一緒にオナニーしたりしていたので、男性が嫌とかいう感覚がまったくなくて。

——その状況を想像すると、絵面が何パターンも出てきてしまうのですが、同級生の男の子と一緒にというのは2人で？それとも3人以上？

2人です。

最初のきっかけは小学校5年生の時に仲良かった男子と、友達の家で週に1～2回ぐらいのペースで、一緒にオナニーをするようになったことです。

その流れから、男性とヤルのが普通になって……。で、中学校も違う同級生の男の子と……。中学生ぐらいの時からアナルセックスしてたんですけど、なんかわかんないけど、高校生の時は普通に女性と付き合ってた……。——中学生でアナルセックスやったの！ 女性と交際した時は告白したんですか？ されたんですか？

たぶん、告白されたんだと思います。その子とは普通に3年間ずっと付き合っていました。

高校の時は男性とやってなかった気がします。

高校の時は男性とやってなかった気がします。

高校時代は、ずっとノーマルに女性と交際してたんですけど、大学で大阪で暮らしていて、梅田駅近くのデパートの前でウリ専の人にスカウトされました。でも、元々が男性とやってたから、抵抗はなくて。

転機じゃないけど、特に難しく考えることはなく、やってみようかなって思いました。

—スカウトの人も、カリンさんだからビンっとレーダーを当てたのか、手当たり次第だったのか……すごいですね、どちらにせよ……。

えーっと、色々と混乱しているんですけども、小学生の時にお友達の部屋でオナニーというのは、射精競争みたいな感覚なんですか？

いえ、普通に仲良くて、下半身を触りあって。

友達がオナニーを始めた時期が早かったと思うんですよね。で、友達から教えてもらって……というのが切っ掛けでした。

—「お前のも大きくなってぞ」みたいな？

そうそう。

—それで、コレをこうすると……っていうのを手ほどきを受けた、と？

そうです。

—それは、二人でオナニーを一緒にする……というより、もはやペッティングですね。それは恋愛みたいな感情を伴う行為？

いや最初は普通に友達と遊んでる感覚です。興味本位的な。

嫌悪感もないし気持ちよかったから。

—その感覚が、いい具合に中学校にスライドしていったということでしょうか。中学校の時の方も、普通のお友達ですか？

そうですね、普通に仲良くて。一緒に銭湯とかに2人で行った時もあるって、「お前の大きいな」なんて言われ続けてた。そこからですかね。友達の家遊びに行った時に、最初はその子の場合も、たぶん普通にオナニーしたのが始まりです。

—その子は既にオナニーの経験はあったんですか？

はい。じゃあ俺も手伝うからみたいな。

—そこから、お尻の穴におちんちんが入るまでの流れが想像できないのですが……。どういう手順を踏んだのですか？ たぶん、アナルセックス

の知識もないし、ローションとかも無いですよ？

でも入れる時はローション使いましたよ。

—それは計画的な犯行ですね！

お前の大きいからって言われてて、「ちょっと入れてみよう」って流れになったから入れてみた、というのが最初ですね。

—じゃあちょっと入れてみるから、いろんな道具も用意しよう？

コンビニとかで買ったので。

—でも、アナルを解したりする知識はないわけでしょう？

ないです、ないです。無理やりグリグリって入れました。

—18センチの巨根に掘られた中学生と、今のお客さんとの反応の差みたいなものってあるんですかね？ 中学校の同級生のお友達も、やっぱり頭が真っ白になったのでしょうか？

いやあの時は、たぶん痛すぎてっていう反応で終わりだったと思うんですよ。

—挿入する以前の、ペッティング的2人オナニーの時は、お尻を弄ったりとかはしてたんですか？

オナニーでお尻は弄ってなかったと思います。

—その彼とは一回きりで終わったんですか？

いや、数回やったと思います。何回かやりましたね。

—数をこなしていくうちに、お友達の反応とかも変わりました？

アナルをほぐすことを始めたこともあったのかも知れませんが、最終的には気持ちよくなってくれました。

—中学の時にやったのはそのお友達だけなんですか？

中学は2人くらい……。

—もう1人やってしまいましたか……。最初にやってしまった人っていうのはクラスメイト？ 同級生？

クラスメイトですね。

—もう一人の方は、きっかけってのは何だったのでしょうか？

同じ部活、水泳部の子とやりましたね。

—水泳部の方の時は、踏み込む切っ掛けは何だったんですか？

普通に水着買いに行って、友達の家に行って水着とか着てて……。やっぱり、すごくモッコリしちゃうんですね。

で、友達が「ちょっと触ってみてもいいかな？」みたいな展開？

ほんとにそんな感じで。

—モッコリをしごいてみたい気分にはなる可能性はあると思うんですけど、お尻に入れるっていうのはどっちかに願望がないと無理なのでは！？

そうなのかな？ その子とも仲良かったし、普通に何にもなく、一緒に寝てたりしてたので……。まあ、お互い流れる的になってたって感じです。

—運命ですかね……。過去の経験も踏まえてこういろんな手順も覚えて、今のようなプロの技ではないけどちゃんと解したりもして。

そうですね。

—で、やっぱり彼の頭の中は真っ白になったんですかね？

最後の方は。

—その方は部活が終わった後に何回くらいヤっちゃったんですか？

その子が一番長かったと思うんですよね、男性と付き合った期間は。だいたい2年くらいです。

その子とは中学卒業で、高校も別々になったので自然に消滅しました。

—で、高校時代は男性とは一切なかった、と？

そうですね。世間体とかを気にするようになったんですよ。

—男友達と気持ちいい事ばかりしてる場合じゃないぞ！と。

そうそう。それまで一回も女性と付き合ったことがなかったの。

—それは普通に性行為には及んでますよね？

そうですね。

—高校時代の彼女は男性的な何かがあったりしたんですか？

それは一切ないです。

—でもカリンさんは、バイセクシュアルって訳ではないんですよね？

バイではないです。男性が好きです。

—どういうところに男性の魅力を感じるんですか？

なんだろう……。腕の筋肉とか……。あとは（股間が）どれだけもっこりしてるのかなとか。

その頃ってスキニージーンズが流行ってて、ぴったりしたパンツじゃないですか？ もっこり具合がどんくらいかわかるから、よく見てました。——でも、ハメる分にはもっこりって、そんなに重要じゃない気がするんですけど？

そうですね、重要じゃないですけど……やっぱり、大きいほうが好きですね。騎乗位をしたときに入れながらシコったりするんですけど、大きい人だとほんとすごい。下から見る景色が違うんですよ

——想像で申し訳ないんですけど、肛門に入ってる時ってふにゃっとしてしまいそうな気がするんですけど？

確かに小さくなるんですけど、騎乗位で入れている時は、勃つ人がなぜか多くて……。理由はわかんないんですけど。正常位とかバックしてる時、正常位してる時はだいたいみんな小さくなっちゃうんですよ 騎乗位でやっている時は、なぜか勃つ人が多くて。

——確かに凄い景色が想像できますね……。

正確には覚えていないでしょうけど、これまでに、どれくらいの尻の穴を掘りました？ 3桁は軽いですよね？

夏の間、6月7月8月9月だけでも、1カ月に60件はしてたので、それだけでもう……。

——1日に2人も！？

はい。多い時には4人とかありますよ。

——リピーターも含めての1日4人とか2人なんでしょうけど、それにしてもすごいですね！ 大雑把に計算して1年で700くらい？ すごいねえ どんだけの人がお尻で気持ち良くなってるのかなあ……。

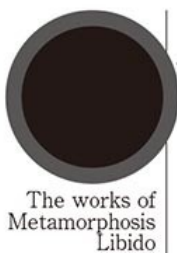
これからも、いろんなおじさんたちの直腸を、ガンガン掘りつくしてあげてください。

そうですね、チンコが勃つかぎりは。

椿カリン

ニューハーフヘルス『チェンジリング』所属

<http://nh-nh.club/companion/karin/>



変態のおしごと・女装子編

AV出演から風俗店勤務へ ある女装子さんの半生

付き合っていた女性のすすめで女装デビュー

Nさんは20代後半の、スッキリと顔立ちの整った美青年。女性にもてそうな、羨ましい容姿をしているNさんの秘密は女装。

彼女に言われて遊びで始めたのを切っ掛けにして、女装の魅力にどんどんハマってしまったようです。

女装AVデビューから、女装風俗店に勤務するまでに至った、彼の女装遍歴を語っていただきました。

●きっかけは彼女。入り口は二次元

まず、自分が女装したきっかけをお話すると、私が女装を始めたのは付き合っていた彼女のせいです(笑)。学生の頃、唐突に「Nくんって、女の子だったら絶対美少女だよね～」って言い始めて、「やってみない？」って始まったんです。

ただ、もちろん前日譚があって、それ以前から、漫画とかゲームとかのメディア経由で、「男の娘」物には触れていたんです。

私が大学に入った頃だったと思うんですけど、ちょっとした男の娘ブームがありました。

「まりあほりっく」とか「処女はお姉さまに恋してる」とか「女装山脈」とか。それから、女装子さんのAVも出始めた頃だったと思うんですが、いずれにしても、それまで普通のエロしか知らなかった中で、「こんなのがあったのか!」と、凄いカルチャーショックを受けたのは覚えています。当時はかなりハマってました。



イラスト：ナユザキナツミ

で、ゲームに影響されて、見るだけなんじゃなくて、自分でもちょっと身体をイジってみようか～、って思って、色々開発に挑戦したりもしてました。その時点で、それなりに太い物は、入ったと思います。何処に、とは言いませんが。

ただ、自分で女装してみよう、という気にはなりませんでしたが。興味が無かったと言えば嘘ですが、鏡を見ても、写ってるのはどう見ても男の自分ですから。やった所で、ただのオカマになるものだろうと。

そもそも「女の子にしか見えない男＝男の娘」って、どう考えてもファンタジーですし。

なので、今にして思うと結構な下地は既にあっただように思うんですけど、彼女が言わなければ、自分がやってみる、って気にはまずならなくて。入り口には立っていたのに、中に踏み込めなかった、といったところですよ。

なので、きっかけっていうのは大変重要ですね。

まあ、それで「やってみない？」ってなって、ウィッグも買って、洋服は彼女のを借りて、メイクも教わりながらやってみたんですよ。「まあ、どうせ酷いことになるんだろうな、とか思いながら。

ですが、それで鏡を見たら、結構イケてたんです。今にして見返すと、随分酷い出来でお世辞にも可愛く見えないんですけど、「まあ、こんな子いるよね」程度には女装できてました。一番びっくりしたのは自分です。「あ、それなりに女の子っぽく見えるんだ」って思いました。

それからです。女装にハマっていったのは。

●初女装から二ヶ月。気が付いたらAVに出ていた

彼女の女装熱はその時だけですっかり冷めてしまったのですが、私はと言えば、むしろドンドンハマっていきました。それで、女装子として最初に始めた仕事が、素人AVの出演でした。

今思っても、かなり思い切った、というかぶっ飛んだ発想だったと思

ます。多分、結構な人は、女装を始めたら、イベントに参加したり、コスプレに走りそうな気がします。でも、私としてはむしろ当たり前のルートだったんですよね。

というのも、先に言ったように自分の女装への入り口はエロからだったんですが、そのために、自分にとって、女装とエロというのは不可分で、ワンセットの要素だったんです。「女装したからには、やっぱり男とやらないと！」っていう。

エロ、という行為というか要素って、やはり社会的には中々理解されるのが難しいことだけに、エロを仕事にする人って、自分の行動とか、趣味がエロと結びつく瞬間がないと、そっちへ走らない気がするんですよ。私は、もともと女装とエロが結びついていたので、エロに走るも何も、女装を始めた段階で、エロをやるのが規定路線だったんです。

加えて、「自分の女装がどこまで通用するんだろう？」っていう変な自己顕示欲がありました。ただ、今だったらエロ抜き表現方法とかイベントとか、結構あるんですけど、当時はAVくらいしか無かった。評価して貰う場所が、そこだけだったんですね。あと、自分が住んでた場所も田舎で、そういうイベントには中々参加し難かった、というのがあります。

そういった感じで、とりあえず応募してみて、プロから見た自分の女装を評価してもらおう、くらいの感覚で、メーカーに応募しました。女装を初めて、まだ一ヶ月そこそこの頃だったと思います。

そして、メールを出したことを忘れた頃。メーカーから連絡がありました。東京まで、面接に来て欲しいと。

「あ、あの女装で通っちゃったんだ……」って思いましたね。

嬉しい半分、後悔半分。

とはいえ、面接っていうからには、ここで落ちる可能性もあるよなー、くらいの気持ちで、高速バスで東京まで出て、新宿で担当の人とお会いしました。せっかく通ったのに無碍にする訳にもいかないから、とも思っていましたので。

ただ、面接自体はかなりあっさり終わりました。というか、そもそも出

演が前提で話が進んだので、落ちるとか断るとか、そういう話は全く出ることはなかったです。

最後、「じゃあ、〇日に新宿で撮影しますんで〜」って別れた後に、「あ、やっちゃった……」って思って、帰りのバスの中でずっと頭抱えてました。そもそも、処女(?) だって捨てた訳じゃないのに。

でも、いざ撮影、ってなったら、案外楽しかったです。初めてメイクさんに本格的なメイクをして貰ったんですが、すごく可愛かったし、カメラさんも可愛く撮ってくれました。

それまでの開発のお陰か、初めてだったのに痛くもなく、結構すんなりHも出来ました。むしろ、人生で初めてドライオーガズムに達したのはこの時です。終わった後、五分くらい身動きが取れなくて、監督から結構本気で心配されたのを覚えています。

何より、自分としては、それまでゲームや漫画で見たり、頭の中で描いていた通りの女装エッチが出来たってことに、一番の満足感がありました。「ああ、そうそう。自分がやりたかったことって、要するにこういうことだよね」と心底実感出来ましたね。

ただ、満足もしたし、興奮もした一方で、自分の物はピクリとも反応しなかったことが悔やまれます。

もっとも、それも当たり前といえば当たり前で、私は同性愛者でもなかったし、トランスジェンダーでも無かったので、男とエッチすること自体には全然反応しなかったんです。

これは、私の女装活動の中で、結構な闇を落とすことになるのですが、それは後ほど。

とはいえ、ここから、私の女装お仕事遍歴が始まったのでした。

●女装モデル活動とその顛末。ひとまず女装をやめるまで

この時から、私の女装モデルとしての活動が、ちょっとだけ始まりました。とはいったものの、自分も学校があるし、そんなに東京に出られる訳で



イラスト：にゆくす

もないし、もちろん立場はフリーだし、ということで、モデルとしての活動は限定的でした。

大体半年に一回、夏と冬の長期休みの時だけでしたね。長期休みが近づくと頃に、写真と経歴、といってもデビュー作だけですが、それを載せたメールを関連メーカーや出版社へ送りつけて、出演のオファーをしました。

ありがたいことに、当時は第二次男の娘ブームと言ってもいい時分でした。女性AV、ほどではないけれど、今では考えられないペースで何本と男の娘AVが出ていたので、多くのメーカーが募集を掛けていて、デビュー後の活動に困ることはそれほど無かったです。

あと、結果的ではあるんですけど、「AV出演」という肩書は強力だった、というのを実感しましたね。

最終的に、学生時代に、五〜六本くらいは撮影をやりました。長期休みだけの限定的な活動にしては、少ないけれど、まあそこそこだったのではないかと思います。デビュー作は期待の新人扱いも受けましたし、まあ楽しかったです。

ただ、やればやるほど限界を感じていたのも事実です。

その最たる理由が、先に言った、まあ言うなれば「遅漏」問題でした。もっとも、遅漏というよりは、私の場合は無反応だったのですが。

恐ろしいことに、全然「立たなかった」んです。

男の娘や女装物のAVや漫画、ゲームなどでも良いんですけども、見れば分かるように、勃起していないとダメなんです。女性の「濡れる」や「潮吹き」と同じように、男の娘物における「勃起」や「射精」は、絵的に大変分かりやすい、快感や絶頂の表現になるからです。実際に、どう感じているかは別として。

だから、女装AVの現場では、女優(?)側にも、ほぼ100%そういうシーンが求められます。もちろん好きなタイミングで良い訳ではなく、あくまで監督の支持通り。

とはいえ、カメラや照明、演者以外のスタッフさんもいる中、どれほどの人が勃起させたり、射精させられるのでしょうか。ベテランの男優さんで

さえ苦心するこの役目。

私達も同じように苦心するんです。

そう、女装 AV 女優とは、AV 女優でもあり男優でもある、大変ハードなお仕事なのです。

そして、私はほぼ全ての現場で、見事に失敗していました。

もちろん、緊張していたせいもあります。何より、相手が男であるというのに、自分が興奮していなかった、というのが最大の問題でした。何てことはなく、性指向の問題です。男に興奮できない以上、どうやっても勃起などするはずありません。

また、絶対的な経験不足も足を引っ張っていました。後々知ることになるのですが、行為自体に没入出来れば、相手が男であっても興奮が出来るし、勃起も出来ます。ですが、行為を楽しめるほど、経験を積んでいる訳でもなかったのです。

女装や撮影自体は楽しいはずなのに、そのために全然楽しくない……、ということが続きました。中には、基本給+射精数の出来高というギャラ体系のメーカーもありましたが、そういう理由で、結局、まともな撮影にならなかった記憶があります。

そうした中で、私は女装自体に悩みました。

結局、自分は女装が好きでやっているのか？

女装してエッチしている＝自分の妄想を具現化していることを楽しんでいるだけなのか？

そうしている内に、私は学生時代の終盤に差し掛かり、多くの人たち同様に就活シーズンを迎えます。忙しくなる中で、私は女装を一度止めることとなります。

モデルのお仕事も、何件かオファーがあったにはあったのですが、また楽しくもないことをやるのか、と思うと、足が重くなったのは確かでした。結局、それらも全部断って、活動は一度休眠状態に入ることとなります。

●閑話休題：女装のセクシャリティって？

女装をしているとたまに話題に上がるのが、性自認、性的指向＝セクシャリティの話題。

女装をしているというと、トランスジェンダー＝性同一性障害、もしくはMtF (Male to Female。生物的には男性だが、性自認は女性)の方を思い浮かべるのではないのでしょうか。

確かに、多くのメディアですと、「女性になりたいから、女性に出来るだけ近づく」ということで、女装＝MtFという図式がありますし、またあなたがち間違いでもありません。

ただ、実際には多くのセクシャリティが入り乱れた、非常に複雑な世界になっているのも事実です。

例えば、性的自認は男だけど、両性愛＝バイ、若しくは同性愛＝ゲイで、男性と付き合いやすいから、という理由で女装やニューハーフとなっている人もいます。

逆に、女装子と付き合いやすいから、ということで、女装をしている人もいます。

Xジェンダーという、男・女・両・無性いずれの性別にも当てはまらないと考える人もいて、自分に一番似合うのが女性の格好だから、ということで女装をしている人もいます。

男性側にも色々で、女性として女装子と付き合いたい、遊びたいという人もいれば、女装子としてだけでなく、男性としても付き合いたい、という人もいます。

性別やセクシャリティ、ジェンダー関係なく、その人そのものと付き合いたい、という人もいますね。

さて、先にもちょっとだけ触れたのですが、私はあくまでも、女装子として活動をしています。だから、自分の性自認は男ですし、ついでに言えば、性的指向も異性愛者です。



イラスト：にゆくす

個人的な感覚としては、同性愛でも、両性愛でもないの、自分は男性を好きになることは100%有り得ません。性的対象、恋愛対象は女性だけ。ただ、女装をした途端、男性との性行為が出来るようになります。不思議な話なのですが。

セクシャリティがノンケ=異性愛者の女装子には、案外、このようなタイプの子がいたりするのですが、非女装のストレート、ゲイ、バイ、あらゆるセクシャリティの人から、結構不思議がられたりします。確かに、同性愛でもトランスジェンダーでもないのに、男とエッチ出来るのは意味不明かもしれないですね。

ただ、普段の性自認が男性であっても、女装した状態では、性自認が女性になっていればどうでしょうか。かつ、性的指向が異性愛者であったら？むしろ、女性は男性と性行為に及ぶものである、と考える訳ですから、むしろ究極的には異性愛者だと言えませんでしょうか？

また、女装・男の娘物のメディアが増えた結果、そういったシチュエーション自体を楽しむために女装をしている、ということも十分有り得ます。そうであれば、セクシャリティは全然関係なく男性とのエッチが出来るのかもしれないですね。

そういう面では、ある意味、女装子というのは、これまで想定されてこなかった性的少数者=セクシャルマイノリティの一つなのかも知れません。条件付きのセクシャリティ、もしくはは趣味嗜好の内と看做されるゆえに、あまり表立って問題にならないだけで。

いずれにしても、セクシャリティとはあたかもグラデーション。100%の白と黒など無く、間には無限の数のグレーがあるのです。一概に決めることなど出来ません。

●転機とAVカムバック。そして風俗デビュー

さて、私の女装モデルとしての活動は、学生時代とともに終わりを告げました。その後は、特にこれといったこともなく、普通に学校を卒業し、

普通に地元の会社に就職をして。結局、普通の社会人としての生活を選択していました。

ただ、辞めた理由が辞めた理由なだけに、妙な後悔になって燻り続けてもいました。

楽しくなかったから辞めただけなのに、後悔していたのは時分でもちょっと分からなかったんですが。

きっと、満足いく活動が出来なかったから、どこかでもう一度……って思っていたんでしょうね。

ただ、せっかく社会人になったのに、そんなことでドロップアウトするのも……と、踏ん切りが着かなかったのも事実で、変に燻りながら、まあ普通の会社員をしてました。

それが終わったのが、一年目の冬でした。

車で事故を起こして、全治三ヶ月くらいの大怪我をしてしまうんです。事故も怪我も酷かったんですけど、ついでに病気も発症して、比喻抜きで死にかけました。もちろん、なんだかんだ無事で完治もしたんですけど、でも、これがきっかけになって、もう一度やりたいことやろうかな、という気になったんですね。

あれだけ踏ん切りがつかなかったのに、会社もあっさり辞めました。新人が三ヶ月も穴を空けたとなれば、社会的にも個人的にも辞めやすかったです。まあ理解はしてくれました。

怪我が治って、会社を辞めて、さて、特にやることもなくなったな、といったところで、東京に行くことにしました。今度こそ心残りが無いように……とまでは深く考えなかったですけど、ちょっとは悔しく思ってたので、今度は自分の好きにやってみようかな、と思ったんですね。

それで、改めて再開するにあたって、それまでアポを取ってなかったメーカーさんに、出演の応募をしました。何社か出して、もちろん返信がなかった方が多かった中、一社だけ面接に呼んでくれました。何年もブランクは有ったんですけど、幸いにも体型に大きな違いは無かったお陰で、どうに

か撮影が決まったんです。

撮影の日、以前もそうだったように、撮影二時間前に現場に入り、メイクやら準備をしました。以前と違って、不思議と緊張らしい緊張はしなかったです。多分、なんだかんだ、経験というか場慣れはしていたんでしょうね。

撮影もかなり順調でした。一番ビックリしたのは、自分の身体がしっかり反応してくれていたこと。100%満足とまでいかななくても、勃起も射精も、しっかりこなしてくれましたね。

この作品、私の中では復活を果たしたものとして、かなり満足のいくものだと思ってます。心残りがすっかり晴れるくらいには良い仕事だったかな、とは。もちろん、毎回これくらいのクオリティの仕事が基本、というのは頭に残した上で。

もっとも、とりあえずデビューしたものの、AVのお仕事だけでご飯が食べられる、という訳にもいかなかったです。

以前、デビューした時から、もう2,3年と過ぎていて、当時のブームはすっかり過去のもの。女装AVは比較的一般的になったのに反して、出す会社はすっかり少なくなっていました。

東京に来るに当たって、兄弟のアパートに飛び込んだので住む場所の心配は無かったとはいえ、生きるだけでもお金が必要なので、どうにかある程度の収入を得られる仕事は探す必要がありました。それで、色々あった中、風俗のお仕事に就く訳です。

●ニューハーフ風俗店のお仕事

風俗。正確にはニューハーフヘルスと言われるようなお店ですが、ニューハーフだけではなくて、多くのお店では女装子も働いています。

ニューハーフと女装子の区別は、お店によって違いはあるものの、大抵はホルモン治療をしているかしていないかですね。

自分は全く手を付けていないので、単純に女装子の分類に入ります。

仕事の内容としては、一般的なヘルスと同じじゃないでしょうか。

一緒にシャワー浴びて、キスとかペッチャングして、抜いて、という感

じです。

ただ、ニューハーフヘルスの場合、これもお店によって違いはありますが、AF、要はお尻を使ったセックスだったり、逆アナル、お客さんのお尻に入れたり、といったものが基本プレイに入ってます。

もちろん、絶対出来ないとかダメ、という訳ではなくて、私も逆アナルについては、体調に応じて、という風にしてました。まあ、でも、沢山のプレイに対応出来た方が良いのは、どの風俗も共通してますね。

大抵のお店には募集のページがあるので、面接のアポを取ることは簡単です。概ね、自分の写真と年齢、身長や体重だったり、その辺をメールに送るだけです。

で、それが通ったら面接に行く訳ですけど、もちろん研修と称したナニやアレは無いです、少なくとも私がいたお店なら。

更に詳しいプロフィールとか、可能なプレイとか聞かれるだけです。大抵、見た目とかは応募の段階で弾かれると思うので、面接で見られるのは、接客出来る程度の対応とか、可能なプレイとかだと思います。あとは、それまでの経験とかですね。別のお店に在籍してたとか、AV出てたとか。やっぱり、「AV嬢在籍！」の謳い文句は強いです。

こういう感じで、自分もついに風俗嬢として働き始めることになりました。怪我の完治から、ここまで僅か3ヶ月。今もなお、大変無駄な行動力だと思ってます。

●風俗嬢(?)生活あれこれ。本音と現実

色んなお客さんがいましたけれど、とりあえず、最初のお客さんは覚えています。30代半ばくらいのお兄さんでした。プレイ自体は結構上手くいったと思うんですが、ただ、ウィッグの固定が上手くいってなくて、プレイ中に外れかけましたね。

後で鏡見たら、かなりとんでもないことになっていました。自分が客の立場だったら、もう一刻でも早く帰りたい様だったなあ、と。

他に印象に残っているのは、イタリア人の旅行客ですね。欧米の、いわゆるコーカソイドって言われる人たちって、大きさはともかく柔らかいって言われてますけど、あの時は、「一体、誰が言い始めた？」と心底思いました。

ノーマルのサイズは、結構小さかったんですよ。多分、10センチもないくらい。日本人と対して変わらない。それが、勃起すると一気に20センチ近くまで膨れ上がったんです。

しかも、柔らかいどころじゃなかったんですね。

頑張って入れたには入れたんですけど、かなり限界に近かったです。非常に紳士的で、カッコ良かったのは救いですね。

あとは、5人くらいの人から、「ウィッグ取ってプレイして」って言われたことがあります。他のキャストのお客さんにもそういう人はいたらしいんですが、これくらい当たったのは自分だけでした。

分かると思うんですけど、ウィッグの有無で顔、というか性別が全然変わるんですよ。

ウィッグを取ったら、メイクしてても、見た目はほぼ男になっちゃうんですね。わざわざ女装風俗に来る意味ってなくなってしまうんです。

しかも、全員から、「ウィッグ付けない方が可愛くない？」とも言われたんですね。わざわざ女装している意味って何だろう……と、ちょっと真剣に悩みました。

とはいえ、運が良かったのか、質の悪い（と思える）お客さんに当たったことはありませんでした。大体のお客さんは、優しくったり、そもそも遊び慣れてる人でしたね。

とはいえ、やっぱりお仕事として女装する訳ですし、趣味程度でやっていた時とは、考えること、やることが全然違いました。

というのは、風俗の稼ぎは基本的に出来高ですから、お客さんが付けば良いものの、いなければその日の稼ぎは当然ゼロなので、待機の時間と労力は無駄足になります。

お店としても、宣伝もするにはしますが、キャスト個人まではカバー出



イラスト：にゆくす

来ないので、基本的にはキャストが頑張る他は手段がありません。

そもそも、女装やニューハーフそのものがちょっと特殊な性癖ですから、顧客の母数は女性風俗のそれとは格段に少なくなります。結局、少ないパイを取り合うので、キャスト自体の努力は、ちょっとのものではなかったと思います。

なので、日頃からのクオリティアップは最低限の営業努力です。スキンケアはもちろん、体型維持も気を使いましたし、あと、仕草や声なんかは、お店からも言われるくらいにうるさく言われましたよね。やっぱり、動きが男っぽければ、それだけで冷めちゃうこともあるんでしょうね。

もちろん、メイクや洋服なんかの研究は、みんなかなり熱心でした。メイクの仕方もそうですし、アイテムなんかの情報は、お店の中でかなり共有されてたと思います。

もっとも、結果として、メイクや洋服にはかなりのお金がかかりましたけど、それも、お金を掛けた分だけ稼げると考えれば、立派な「投資」ですよ。もちろん、投資対象が間違っていれば、稼ぎに繋がる訳ではないのも同じなんですけど。

あと、SNSとかHPの対策もかなり重要です。SNSとかHP、風俗情報サイトの写メ日記は、結構見られていて、そこから来るお客さんも多かったんですよ。

今から思うと、風俗店って、接客スキルはもちろんのことなんですけど、マーケティングの要素が満載のお仕事だったと思います。お客さんは、ちょうど、コンビニに並んだ商品を選ぶのと同じように、キャストを選ぶんです。

それならば、私たちは他の商品＝キャストとの差異をはっきりさせ、その魅力を宣伝し、顧客の需要を満たさないと、買われることはないんです。

その差異は、サービスであったり、プレイの質・内容であったり、またキャストの属性であったり、メイクの良し悪し、はたまたSNSでの発信力だったり。

働く前は偏見があったりしたけれど、実は風俗のお仕事って、思っていた以上に、立派に「お仕事」でした。

それから、性産業として切って切り離せない話題が、やっぱり性病関係じゃないでしょうか。

不特定多数の性的接触を行う風俗店は、やはり性病の温床になりやすいのは事実です。まして、私がいたようなニューハーフヘルスとなると、肛門を使った性的接触が必然的に多くなります。肛門粘膜は他の部分に比べてかなり傷つきやすいので、男女間の性行為に比べると遥かにリスクが高いんですね。

そういう訳で、キャストの多くは、性病にはかなり敏感でした。雇ったら仕事が出来なくなるし、その分生活に関わるからです。

個人輸入した薬で服薬予防している人も中にはいて、どこよりも性病に敏感な場所だったような気がします。

自分も、性病検査は二ヶ月に一回程度受けていました。かなり気を付けているつもりでも、検査結果を聞く瞬間はやはり慣れるものではなかったです。モノによっては、自分の人生がガラッと変わってしまうものですから。良くも悪くも、鈍感じゃないと風俗嬢はやっていられないな、と思った次第でした。

● AV 再デビューその後

風俗のお仕事をしていると、AVの仕事もちょくちょく入るようになりました。

風俗店の中には、AVレーベルを抱えていたり、メーカーを親会社に持つお店が少なくないです。先にもお話した通り、やはり「AV嬢在籍！」は強力ですから、そもそも、在籍嬢をAVに出してしまおう、ということなんですね。なので、お店で働いていると、そちらの方から声がかかったりします。

自分も多分に漏れずに、お店が持つレーベルから何本か出させて頂きました。何故か、タチ役、つまり攻める方でしたが。私は基本的に受ける側だったはずなんですけどね……。

もちろん、それ以外にも長・短編合わせて何本もあって、以前の活動時

期よりも出演数は多かったです。

実は、某配信サイトで、何度かジャンル一位を取ったことあるんですよ。若かった時（といっても、2,3年前程度ですが）より人気って、ちょっと複雑な気分ですね。あの当時にもっと活動出来ていれば、と、思わなくもないですが。

そういえば、人生で初めてサインを書いたのはこの時期でしたね。確か、何か特典グッズに書いたと思うんですが、撮影の時、監督から唐突に、「サイン書いといて！」って言われてやりました。

その時までサインなんて書いたこと無かったので、頑張って絞り出して、それっぽいデザインでざっくり書かせていただきました。……貰った人が喜んでくれたかどうかは知りませんが。

この時期一番楽しかったのは、四人くらいの女装子さんたちと一緒に撮影した時でした。

風俗の仕事も含めてなんですけど、女装子同士で絡んだのは、実はこの時が初めてでした。

始めの方でもお話しましたが、私は自分が女装するより以前にそもそも女装コンテンツのファンから入った口ですから、本来は相手が女装子である方が一番嬉しい、というか興奮するんです。ましてや女装レスなんて、まさしく一番ファンタジーな世界じゃないですか！

あの時ばかりはちょっと楽しすぎて、しばらく現実から離れてましたね。

ただ、ある程度順調に見えた活動の中にも、一年過ぎた頃には、些かの陰りが徐々に見え始めました。以前とは違った形で、現実と向き合わなくてはならなくなってきたのです。

●新しい世代には、もう勝てない

ちょうど一年を過ぎた頃でしたけど、お店に、とても有名な現役のAV女優さんが入ってきたんですね。「え、なんでこの人が？」と思うくらいのビッグネームです。

どれくらい凄って、デビューして一年に満たない新人女優なのに、もう既に、業界トップクラスになっていたくらいなのよ。

正直、実物を見て打ちのめされました。メイクとかめちゃうちゃ薄いのに、本当に素で女の子にしか見えないんですよ。男の要素が見えないくらい。「ああ、これが現実か」ってなりました。

そういえば、自分より10歳ぐらい近く年下の子たちも、だんだんとお店に入ってきていました。彼女たちに共通するのは、単に若いだけなんじゃなくて、女装のスキルが高いんですよ。

要は、私が女装を始めた頃とは、環境が全然違うんですね。私が始めた頃は、女装はまだちょっと後ろめたいものだったと思うんです。

でも、4,5年の間で、女装はずっと明るい趣味になっていきました。結果、彼女らが始めようと思った時は、女装に対する認識や環境は、はるかに良いものになっていた筈です。

間違いなく、これが現実でした。そんな新しい世代に、自分は勝てるはずもない。もう時代は変わったんだな、と思ったんです。

自分の年齢的にも、そろそろ女装が難しいかな、とも思っていました。昔に比べて化粧ノリも悪くなってきたし、肌も荒れやすくなったし……等々。

考えて、「あ、この辺が潮時なんだな」と思いました。それで、お店も辞めて、女装活動から引退することを決めました。

ただ、今回の引退は、前回とは違って、後ろ髪を引かれるような思いは一切無かったですね。むしろ、過去にスッパリ決別したような気分さえしました。

思えば、今回の復帰は、私が過去に置いていった忘れ物を拾っていくような、そんな活動でした。

何年か前の私がやりたかったこと。それを一つずつ集めて、全部拾い終えたのがこのタイミングだったのかな、と。囚われていたのが過去である以上、過去が無くなった今は、もうそれに拘る必要はなくなったんだと思います。

ぶっちゃけ、たかが女装のことはなんですけど、それくらいに私を虜にしていたんですね。今更になって気づきました。

●女装を仕事にすること

女装って、男が経験できない、色んな要素が詰まっているんですよ。メイクやファッション、それから仕草や声もそうですね。どれも経験がないことを始める訳ですから、上手くいくはずないです。上手くやろうとすれば、それは大変な労力が要ります。

かと思えば、突然男性的な部分を求められることもあります。性的なことであれ、そうでないことであれ。

でも、女装子が好きな人って、そこに魅力を感じるんだと思います。女性にしか見えない人がいいなら、女性を選べば良いはず。それなのに、敢えて女装子を選ぶ理由って、男性なのに、女の子になろうとする、アンビバレントな部分なんじゃないでしょうか？

そしてそれは、女装という行為そのものの楽しさのような気がします。女装を仕事にしたい、そう思うのであれば、どんな形であれ、あなたが女装を楽しんでみませんか？そういう魅力が、人にお金を払わせ、そしてお仕事になっていくのですから。



変態のおしごと

The works of Metamorphosis Libido

マゾ男性を完全に支配する
女王様たちの世界

Crossdressing
Goods
Perfect Bible

変態のおしごと・女王様編

女王様AVの老舗 北川プロのレジェンドたち

奴隷がノーというなどあり得ない世界

35年を越える長い歴史を持つ女王様専門のAVメーカー・北川プロ。代表である北川繚子女王様を中心に200本を越える作品を世に送り出してきました。

パフォーマー編で紹介した飛室イヴ女王様をはじめとして、SM界に影響を与えてきた伝説の女王様たちに集まっていただき、座談会という形でお話をさせていただきました。

出席者

北川繚子女王様

シャネル女王様

飛室イヴ女王様

辰神麗子女王様

ジーナ女王様

奴隷は女王様のしたいことを一生懸命うけいれるもの

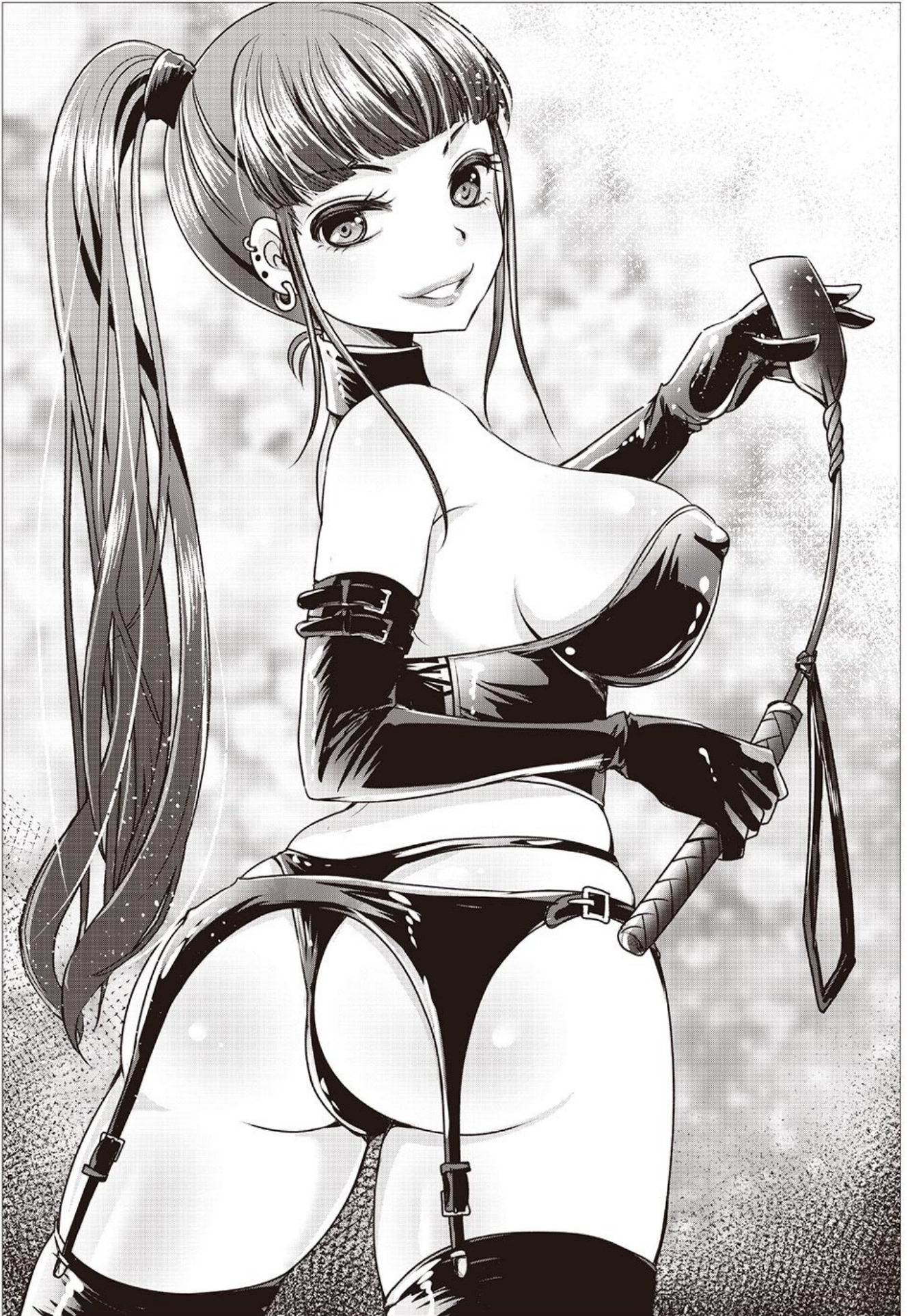
北川 今日とは色々な場所から集ってもらって、本当にご苦労様でした。

イヴ いえいえ、ご招待いただいて光栄です。

ジーナ 私もです。

編集 さっそくですが、北川プロといえば、1983年から始まっていますが、シャネルさんは当初からご出演されていますよね。こちらのご三方は？

北川 イヴさんは1996年、麗子さんは2000年、ジーナさんは2001年からですね。



イラスト：うすべに桜子

編集 2000年というと最近の感じがしますが、それでも17年前なんですね。

全員 ははは。いやねえ。

編集 北川さんとシャネルさんは34年前です。

北川 (シャネルさんと顔を見あって) 34年だって(笑)。最初は友達とトランプ社という名前で作品出したんだけど、その人が抜けてから北川プロに名前を変更して、M男ちゃんたちに協力してもらいながら作品を作ってきたんですよ。だから古いビデオを見ると、制作がトランプ社、販売が北川プロになってます。

編集 作品ナンバー20『女王様の自宅調教』からですね。最初にご一緒されていた方も女王様だったのですか？

北川 S男よ(笑)。だから一番最初の作品は全然タッチしていなくて、私はナンバー2からなんですよ。

編集 北川プロの女王様資料に、北川繚子女王様デビューって書いてあります。

北川 ナンバー1の編集を横で見ていると、面白そうで。自分も出てみよう、と。

編集 シャネル女王様は早々に83年の時点でご一緒されています。

北川 そうそう。16からかな…。

ジーナ 16？

シャネル ん？

北川 違うよ、作品ナンバー16。16歳じゃないですよ(笑)。そんな、今だったら大変ですよ。

編集 作品ナンバー16『女王帝国』ですね。

北川 そう。六本木に「サムノ城」という雰囲気のあるサロンがあってね、そこから話をいただいて、シャネルさんを誘って、サロンの女王様も2人か3人出て…それが初めて。

編集 シャネルさんとはどういうご関係だったのですか？

北川 奴隷から大阪谷九にあるSMスナック「ポポ」を紹介してもらったのが最初ですね。おもしろい店でね。関西弁で大声でSMを語り合っていて。

編集 大阪というのは独特の雰囲気がありますね。

北川 そうそう。M男たちが店内で聖水飲まされたり、鞭で打たれたりしていましたよ。その「ポポ」に在籍していたのがシャネルさん。

シャネル 新聞広告見て入ったんだけどね。

北川 超ハードな女王様がいるというのは噂で聞いていたんだけど、会ってひと目見るなり、天性のSのオーラに魅せられてしまいましたね。それで意気投合して、『女王帝国』にお誘いしたんですよ。

編集 シャネルさんはビデオ出演の経験はおありだったのですか？

シャネル ない。それが初めて。あと、北川プロ以外出演していないわ。

北川 シャネルさんはおもしろいことをいっぱい考え付く人で、昔から楽しませてもらってるんですよ。

編集 超ハードなんですね。

北川 まあ、当時はハードとかソフトなどという言葉もなかったけれどね。

ジーナ ソフトSMという言葉も後からの言葉ですよ。

北川 あ、そうだよ。その頃の女王様というのは、M男が「はい!」となるのが普通で、今みたいに「お客さん」じゃないから。女王様がしたいことに奴隷が合わさないと。

編集 シャネルさんのしたいことに合わせるというのはやはり大変なことなんでしょうね。

**ハンダ鋺押し当てられて泣きを入れたら、
お前が自分で買ってきたんだらうって（笑）**

北川 いや、この女王様のためならってみんな一生懸命だから、体はつらくても、精神的な部分は違うでしょ。まあ、シャネルさんはハンダ鋺で焼いたりするから奴隷ちゃんは大変でしょうけどね（笑）。でも、〇〇（シャネルさんの奴隷氏）なんてね、シャネルさん一途なものだから、何をされても「ありがとうございます!」と感激しているよね。

シャネル チ〇ポにお灸をしたら穴ができた。

北川 それでもシャネル様、シャネル様なんですよ。

ジーナ シャネルさんに見つめられたら、本当にどこまでもついていきたくなると思いますよ。女王様としての力というか魅力がすごい。

北川 結局、気持ちだよねえ。最初はできないことがいっぱいあっても、女王様のために頑張っているというのが見えたら、可愛く思うじゃないですか。

編集 そうですよ。ハードとかソフトというのはお店の営業用の言葉ですから、北川プロではそういう概念がなくてもおかしくないですね。リクエストなんて考えられない。

北川 ないない。さっきのハンダ鍍の話だけど、あれはシャネルさんがやりたいことをしただけ。シャネルさんがおもしろいなあ…と今度ハンダ鍍やろうか、買ってこいと言ったら買ってくるじゃないですか。それでいざという時に奴隷が「熱そうです」と言う「お前が買って来たんだろうが!」だって、ははは。買ってくるよう命じたのはシャネルさんなんだけど(笑)。
シャネル ふふふ。

北川 こんなヒドイことを…と終わってから言うんだけど、シャネルさん知らん顔(笑)。だけど、シャネルさんのやることは彼にとってすべてなんですよね。

編集 イヴさんは会員制のバーをやっているって、お客さんの雰囲気というのは今と昔で違うと思われませんか。

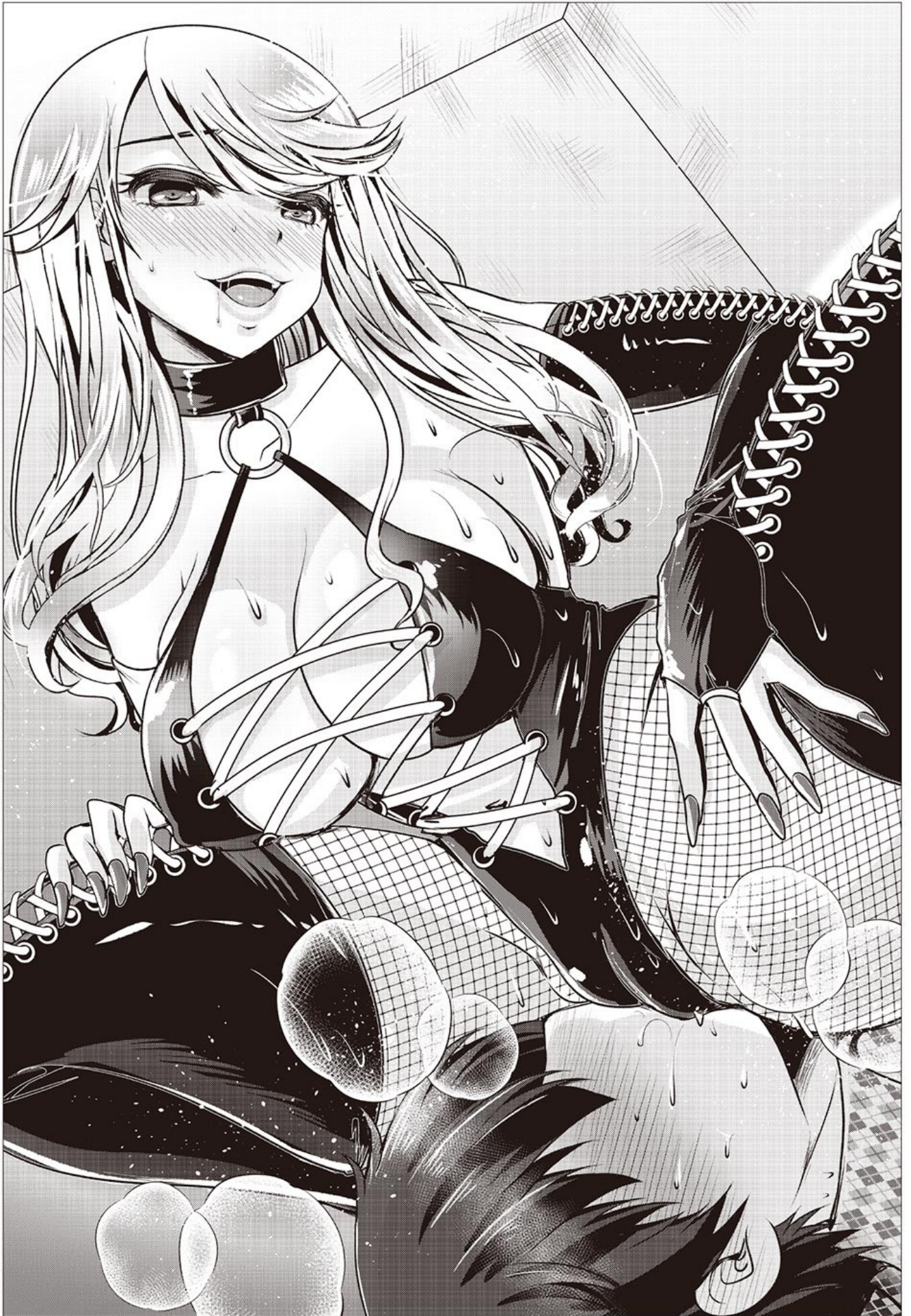
イヴ うちに今最高88歳になるおじいちゃんがいるんですけど、彼がSMに目覚めた時はまだSMクラブはありませんでしたって言ってた(笑)。

全員 あははは

イヴ それはともかく、以前は昔のことを話さなかったんですけど、年のせいかぼちぼち話すようになって…。この間、来た時に乾杯したら手が震えていて、さすがに年のせいかね…と言ってたら、20年前からいる店のM女が「昔から震えていましたよ」って。

そうか、昔は床にいるから乾杯してないんですよ。奴隷は灰皿などにバシャとしたのを飲んでるわけですから(笑)。

そういう立ち位置というか関係性が昔風といえば昔風ですね。こちらは



イラスト：うすべに桜子

趣味で始めたものですから、好き勝手にやらせてもらうスタンスで、それでよかった

編集 麗子さんはSMクラブ歴が長いと思いますが、どうですか。ノーを言うM男は多いですか？

麗子 ノーというか、要望を聞き入れた上でプレイを進めていくのが当たり前のスタイルになっていますよね。なんでもしてください…というのは本当に少なくなっていますね。20年くらい前まではそういう人はいたけど。好きなように染めてほしいとか。今はこれがしたいとかあれがしたいとか。たとえば、最近はやっているのが寸止め？

イヴ なに、寸止めって。

麗子 イカせる寸前で止めるのを繰り返す感じ。

北川 それはそれで苦しいらわね（笑）。

麗子 つきつめればSMになっていくんだらうけど、どっちかというとか快楽を得たくてやっていることですよね。快楽を得たいというMがすごく多い。あと、ドライオーガズムとかね。別にSMでなくてもいいんじゃないのかな…、というようなことを求める人が増えているのかなと。

編集 そのあたりは、クラブとしては需要に応じていくしか仕方ない部分もありますものね。ジーナさんはクラブの経験は？

ジーナ 私は19歳の時にクラブに勤めました。六本木の『レーヌ』です。そのあと、別のクラブを一か所。

編集 あの『レーヌ』さんでしたか。

ジーナ なんで、「あの」なの？

編集 いや、『レーヌ』さんは怖かったイメージがあるものですから。二つのクラブで仕事をされてどうでしたか？

イヴ ノーがないよね、『レーヌ』は基本。

ジーナ たとえば、家庭があって鞭や縄の跡が残っては困るからといった精神面ではなくて生活面でのNGだけは聞いてあげて、その後は、「じゃ針はあとが残らないからいいわね…」みたいな感じで見えないところに針を打っていくとか。そもそも、ソフト設定というのは教わっていないからわからない。で、よそのクラブに行ったら、「私



イラスト：上野十倍

はこれとこれができるんで、女王様よろしくお願いします」とM男から言われて、すごく驚いた。クラブが変わればこんなに違うのかって。

昔は六本木の交差点、大阪城などで野外プレイも

編集 話はそれますが、80年代、90年代のSMシーンはビデオでも過激でしたよね。「ブルーシャトー」さんのプレイ映像を見ていると、銀座か六本木の交差点でボンテージの女王様がパンツ一枚のマゾ犬を散歩させている。

シャネル それ1983年頃？

北川 もう少し後じゃない。

シャネル その頃ならミナミで同じようなことをやってた。平気で散歩してたよ（笑）。通行人が本当の犬を連れていて、それと並んで散歩したりとか（笑）。

イヴ 90年代前半頃までなら私も六本木の交差点とかでやってましたよ。首輪つけて歩いてましたけど、まだそんなにうるさくなかったですよ。

ジーナ 全然うるさくなかったですよ。

シャネル その頃は露出もできていたし。

イヴ ちょうど交番があるじゃないですか、六本木の。おまわりさんがアハハと笑って見ていた時代ですよ。

シャネル 外人の観光客とかに写真撮られてね（笑）。

北川 昔はのんびりしてましたよね。夜に公園とか連れて行ったり、大阪城公園とかね。この話をすると、みんな「ええっ」と驚きますよ、ははは。

編集 考えられないです。

北川 うちの作品だと、ナンバー171の『恥辱の犬奴隷』。これなんか新宿の中央公園でケイトさんとイヴさんが野外プレイやっていますよ。私は行かなかっけどね、恥ずかしいから（笑）。

イヴ ひどいですよね、やらせといて（笑）。

北川 M男を引き連れていたら、犬が飛んでくるんだよね。

イヴ M男ちゃんを鞭で打っていたら、ゴールデンレトリバーが「なに遊んでんの、なに遊んでんの、ほくもまぜて！」って走ってきて、M男に馬乗

りになって（笑）。飼い主が「すいません!」。こっちの方がごめんなさいですよね。

編集 麗子さんは？

麗子 えっ、私？ 私は〇〇の墓地。野外露出は基本そこだから。全裸でペニバンで犯したりとか（笑）。浣腸して野外で排泄。

編集 お墓にですか。

麗子 さすがにそれはしませんよ。近所に公園や公衆トイレもありましたから。

北川 昔って、そういのをやっても何も言われなかったよね。

麗子 昔はお店で必ずあった野外プレイ・コースというのもなくなりましたね。

イヴ 捕まっちゃうからよ。

北川 奴隷は野外っていうと喜ぶよね。うちなんか合宿撮影で貸別荘とか行くじゃないですか、どのくらい隣と離れているかとか下見してね、ここだったらハダカでかけずりまわってもいいかなってところを一生懸命探してね。そういうところでみんなで二泊三日とか遊びながら撮影しました。

イヴ 私も何回かご一緒させてもらいましたが、子供には気を遣いましたね。親子でテニスに向かう人に会った時は、ちょうど小さな土手だったんですよ。下にM男を蹴り落して、親子から見ると犬の鎖しか見えないから、下で犬がトイレしているのかなあ…という風にカモフラージュしました（笑）。気をつけたのはそれくらいですかね。気をつけるというのも変だけど。

撮影合宿では奴隷頭がいて、他のM男たちの教育

編集 合宿の時のM男さんたちはどういう感じなんですか？

北川 合宿となるとね、M男ちゃんも24時間女王様といれるじゃないですか。素颜だし（笑）。最後の日は盛り上がりましたね。みんなで酒飲んでカラオケして、わいわい。

イヴ ちゃんと鍋も女王様用と奴隷ちゃん用と別れているんですよ。

編集 中身が違うのですか？

イヴ いや、中身は同じだけど（笑）、同じ箸をつけないというかね。当然でしょ。

編集 しつけですね。

イヴ 最初に合宿撮影に参加させていただいた時に自分の奴隷ちゃんを連れて行ったんですね。シャネルさんの奴隷がすごいので、うちの「見習え!」って（笑）。奴隷ちゃんは奴隷ちゃん同士で学ぶみたいな…。

北川 奴隷頭っているんですよ。チームリーダー（笑）。奴隷のチームリーダー。

イヴ 奴隷もバカじゃないから、しゃきしゃき働いて可愛がられているのと、すつとこどっこいのがいるから、自分がどちらを見習えばよいのかたぶん学んでいると思うんですよ。

北川 見ていると面白いよね。

イヴ そういえば、昔、奴隷オーディションやりましたよね。すごい色々なのが来ましたね。すると、シャネルさんがみるみる機嫌が悪くなっていくんですよ（笑）。横で「わあ、怖いどうしよう」みたいな。

編集 どうしてでですか？

イヴ いや、できる、できるってすごいアピールをしているのに、鞭一発でへたれたりとか。シャネルさんも、最初は初めてだから優しいんですが、そのうち「何ができるんだ!」って、鬼の形相に（笑）。

シャネル ふふ。

北川 クラブ・レベルでよく鞭大丈夫ですって来るんですよ。だけどビデオは何発、何発で終わらないから、私はとめないものだから、撮りたいカット分だけは撮りますからね。だから何発できま〜すなんて言ってるのはダメなんですよ。すぐ無理ですって言う。それじゃ絵にならないだろって。

編集 初めて会う M 男さんたちですよ。

イヴ オーディションですからね、初めてですよ。使えるかどうかやってみないとわからない。

北川 オーディションじゃない時はうちの奴隷とか女王様たちが連れてくる奴隷ですね。

編集 それは個人奴隷ということですか。みなさん個人奴隷をお持ちの経



イラスト：上野十倍

駿は？

麗子 今はいない。昔のことでいいですか？ 多頭飼いというのは私は基本しなくて、いつも一匹。でも、なかなかメガネにかなうのはいませんよ。

編集 メガネにかなう M男がいたら育てるのですか？

麗子 私の場合は結構育ち上がっているのが来たりする。

全員 ははは。いいねえ。

麗子 よそでいい感じに育てられて、なにかしらの原因で捨てられて、迷い込んで来たのをこれはいい子だな。拾い物をしたみたいなのもあります。

編集 育てるという経験をされた方は？

イヴ 私はちゃんと奴隷として10年近く一緒にいたのが一人いましたね。

女王様とM男の信頼関係があるから撮影は楽しいんです

イヴ 北川プロにも出ていた者なんですけど、でも、奴隷一人をちゃんとできるように育てるって、私は家の鍵も渡して、掃除から何まで全部まかせていたので、そこまで信頼をもってできるのってなかなかないですよ。仲いい遊んだりする M男ちゃんは奴隷ではないですから。

ジーナ 私は、その時に必要なものを必要なだけ教えて、私生活もよく理解してくれていた奴隷がいましたが、でも、私の望まない調教を望むようになったから、切ったということがありましたね。

編集 何があったのですか？

ジーナ 私は自分の個人奴隷を黄金奴隷にはしたくない。私が北川プロで黄金プレイをしたりすると、個人奴隷だから御供してきているわけですよ。すると「自分の女王様がほかの M男に黄金をやっている。こんなにつらいことはない。ぼくはすべてを受けたい」と言ったんですね。「私は私の排泄物を食べた人間とは同じテーブルには座りたくない、だからお前を黄金奴隷にする気はない」と言ったんだけど、そこが理解できなかったんだねえ…。大事にしていた子だから、そこはゆずれないところでしたね。

編集 シャネルさんは？

北川 そりゃもうずっと完全な奴隷が一人いるもんね。さっき言った子。

もうおじいちゃんになってるけど。それでも「シャネル様、美しきシャネル様」とちゃんとメールをよこしてくる。メール打つくらいだから、ボケてないわと笑ってる。

編集 その方とは長いお付き合いなんですか？

シャネル 30年かな。

北川 ある時彼から私に電話がかかってきてね。シャネルさんとどこかで待ち合わせをしていたらしいんだけど、シャネルさんが来ない。喫茶店で5時間、6時間、待っていたらしいんですよ。で、泣きついてきて、「北川さんお願いですから」と。私が連絡とって、そうしたら、シャネルさんが来てくれたらしいのよ。来て、すぐ帰っちゃったらしいけれど、顔は見せてくれた。それで感謝されてね。「ぼくは北川さんに頭があがらないんです」ってなんのこっちゃ（笑）。

編集 シャネルさんはその時は何をされていたのですか？

シャネル 寝てたかな（笑）。

北川 普通だったら帰るけれどね、それだけ思いがすごいですよ。そこまで惚れこまれる女王様もすごいけど。女王様と奴隷のそういう信頼関係で北川プロは成り立っているんですよ。先にも言ったけど、はっきり言って気持ち。つらくても一歩でも先に進もうとする心。そこで女王様と奴隷の関係ができて、ちゃんとつながりができるんです。そこを見てもらいたいですね。いろんなビデオを作ったけど、基本的には女王様が楽しくないと、やらされているのが絵に出るものね。プレイはハードだけど、実際はみんな楽しくワイワイという感じですよ。M男ちゃんたちがこの女王様のためなら頑張る…と頑張ってくれるから、女王様たちもとても楽しそうに調教する。そういう人たちのファミリーになっているのが北川プロですよ。ほんと、M男ちゃんは可愛いですよ。

北川プロ

<http://www.kitagawa-pro.com/>

Crossdressing
Goods
Perfect Bible

監禁という言葉に興味があり、 そこから始まりました

奴隷男を監禁し徹底的に調教するロマン

自ら応募してくる本格的なマゾヒストを監禁し徹底的に調教していくというハードな内容で、多くのM男性から熱烈に支持されているAVメーカー『ヤプーズマーケット』。

その代表的な女王様が浅野なおみさん。

独特な世界を築いてきた『ヤプーズマーケット』を作り出した浅野さんにSM観を聞いてみました。

[浅野ナオミ プロフィール]

東京都の中流家庭に生まれる。19歳の時に高校時代の友人に誘われて、S女ビデオの撮影現場に行き、これをきっかけに山田龍介氏と知り合い、Fetish Producer 凜龍の名でユニットを組む。1999年に、ヤプー1号を発掘して、日頃からの夢であった『転落マゾ男監禁セミドキュメンタリー』を制作。

—— 浅野さんの家畜を飼いたいという願望はいつ頃から始まったんですか？

浅野 飼いたいという願望が昔からあったわけではないんですよ。小さい頃は自分がSMを好きだとは気づかないじゃないですか。でも大人になるにつれて、何となく自分がSMを好きだということが分かってきて、SMにはどんな種類があるのか分かってくるわけです。例えば、スカトロって言葉があったりとか。で、その中でも“監禁”という言葉にすごく興味をもったというか、そこからですね。

—— 言葉から想像をふくらませたわけですね。では、SMっぽいことを、



イラスト：上野十倍

初めてしたのはいつだったんですか？

浅野 そうですね。高校生の時ですね。当時お付き合いをしていた方に、顔面騎乗をしたことが始まりです。初めての相手の方でしたが、SEXを続けていても、何か違和感を感じていました。そのうちに彼が、多分AVをよく見る方だったみたいで、ある日「顔の上に乗ってみたい？」と言ってきたんです。それで試しに乗ってみたら、これがすごく良かったんですね（笑）。そういうところから始めて、「あ、こっちの方がいいな」ってなってしまうんです。SEXだとイかないのですが、顔騎だとイくというか。——何もされずに顔騎だけでイけるんですか？

浅野 最初は顔騎しながら刺激をされていたんですけど、だんだんと慣れていくうちに、またがるという行為そのものが刺激的になっていったんです。SEXをするときに自分の中では、顔騎は3回SEXしたとして、その内の1回くらいのペースで収めていたものが、他の2回も我慢できなくなってきてしまって……。そうなるうちに付き合いというものがおかしくなっていくんですね。自分は顔騎をしたいのに、彼はノーマルな方だったので求めるものがずれてきてしまって……。ある意味、性の不一致から別れる結果になりましたね。

——初めての顔騎以降、SEXに興味なくなったのに、まだSMに出会ってない…そんな時期ってどんな感じでした？

浅野 悩んでいる時期でしたね。顔騎とSMっていうものがまだ繋がらないんですよ。もちろん、そういうことが許される男性がいることも知りませんし。ただ自分の変なんだって思っていましたね。

——SMに目覚めて以降はどうなっていったんですか？

浅野 SMが好きだということに目覚めていって、そのとき私の友人がSMビデオにスカウトされるんですね。そこで「一緒にいってみたい？」って誘いをうけたんです。迷いはありながらもSMプレイはしてみたかったですから、ビデオには本能のまま出してみようと思いましたね。女性が普通に生活をしていたらそういう出会いってないじゃないですか。

——そのビデオ現場で、現在いっしょにヤプーズをやってらっしゃる山田さんと出会ったんですよね。本物のM男性に出会ってどう思いました？

浅野 いいものをもらったというか、世の中に彼しかいないって思ってしまいました。それから電話で呼び出してはプレイをしていましたね。そのときに彼がSMの本とかを買ってきてくれたので、山田のおかげで視野がすごく広がりました。世の中にはこういう趣味の人たちがいるんだってことが分かってきたんです。

—— 山田さんにお聞きしますが、浅野さんとのプレイはどんな感じだったんですか？

山田 僕は浅野さんとプレイをするときにホテルから何からすべて用意するんですけど、そういう段取りのあるのが嫌みたいでしたね。彼女の場合は日常の中にSMがあるんです。寝起きにいきなり鼻をグッとつままれてグラスに入ったオシッコを飲まされたりとか。

—— 山田さんと出会ったのに、次のヤプーを作ろうと思った理由はなんだったんですか？

浅野 本格的な監禁をしたくなっていたんですが、その時にちょうどインターネットでリントローという男に出会うことになるんですね。で「こういうことをしたいのよ」ってリントローに話をしたら、彼の方が自分の社会的立場ですとかそういう状況を整えてこちらに来てくれまして、それで監禁をすることができたわけなんです。

—— そのときからすでに作品として撮ろうと思っていたんですか？

浅野 いえ、最初は本当にただ日記のように撮って、後でみようよって感じで山田に言われていたんですが、監禁ってある程度お金がかかるので、ビデオにして売れたらその費用でまた監禁できるよってうまくのせられまして（笑）。まだ22歳で若かったですからね。

—— でも実際に監禁するとなるとお金は大変ですよ。

浅野 リントローの場合は「自分にはもう人間としての生活はないので、財産も自分の持っているものすべてをさし上げます」ということで自分から退職金や何から全部持ってきたんです。一応受け取る形にして、監禁生活が終わったら返してあげましたけど。

—— 実際に監禁をしてみてどうだったんですか？

浅野 お互いそうでしょうけど、理想と現実の差がありましたね。妄想の

中の家畜って風邪とかひかないじゃないですか。でも実際は熱を出したり風邪をひいたりするんですよ。それがすごく許せないと思ったんですけど。排泄物もかけたままだと臭くなるし、夢のようにはいかないですね。檻の中に入れて排泄物だけ食べさせておきたいと思うんですけど、1回出して洗わないといけないとか、理想にはない現実がありましたね。

——いくら家畜とはいえ現実には一応人ですもんね。

浅野 彼らも妄想と理想の差があったと思うんです。よく思うのが監禁される男性側の妄想の中だと、24時間誰か居るんですよ。次はこれをやられて次はこれを……とか。でも事実上の監禁って一人でいる放置されている時間の方が長いじゃないですか。そこに差を感じるんじゃないですかね。

——監禁部屋ってどうなっているんですか？

浅野 声が漏れるとまずいので壁を防音にして、床にもマットを敷いてあります。大きさはせまい1Rくらいですかね。

——餌は排泄物だけですか？

浅野 それだけだと死にますから、たまに高カロリーのものでとか、ビタミン、ミネラル剤の栄養補助食品を与えます。人間の食事を与えると、人間に帰ってしまうから駄目ですね。

——いろいろな苦勞をしていざ作品にしてみてもうでした？

浅野 それまでは作品にしようなんて思っていなかったんですけどね。リントローからヤプーズ・マーケットになっていきましたね。

——作品の中に出てくる特殊な道具はどういったところから生まれたんですか？ 山田さんのアイデアですか？

山田 はい。排泄物が好きなものですから、その排泄物が出てくる女性の周りも綺麗、便器もメタリックだといいなと思ひまして。当時のスカビデオって汚い部屋で便器も汚いっていうのが多くて。そうではなくてセレブといいますか、綺麗なところで食べるウンコは高級だなと思ひまして。

浅野 こういった器具を作るときも、こんなのどうだろう、あんなのどうだろうって作ってみて、その中でいろんな反省点も見つけていきましたよ。あとは小説の「家畜人ヤプー」を参考にしたりして、それを職人奴隷というのがあるんですが、彼らがある場所で作っているんですけども。人間



イラスト：上野十倍

を本当には改造できないので、器具と人間の融合、つまり生体家具ですね、とりあえず人間が何かと、便器といった家具とかと融合していないと駄目です。そうでないとただのスカビデオになってしまうので。融合させた後はビスでしっかりと閉めてしまうので自分では絶対に取れないようにしてあります。

—— 作品のイメージ作りはどのようにされてるんですか？

浅野 私がやりたいこと、やりたくないことを先に言います。で、どんなことをやろうというのはやっていくうちに決めていきますね。

—— やっていくうちに浅野さん自身が開発されたというか、これもいいなと思ったものはありました？

浅野 いいなというか、こういうことに出会っていなければやらなかったと思うのは集団調教ですね。自分ひとりでは出来ないことですか、自分の妄想を彼女達がしてくれる、見て楽しむ、やらせて楽しむ。そのことによって余裕が生まれましたね。

—— 浅野さんに余裕が生まれたんですね。集団調教だと今までで23人というのが最高の人数ですか？

浅野 30人で鞭打ちというのが最高ですね。

—— 30人で鞭打ちですか？ その彼はどれくらいもったんですか？

浅野 30、40分ですかね。とりあえず1000発以上は打ってます。1本鞭で両側から叩くんですけど、何度か気を失ってましたね。ビデオを見てもらえば分かるんですが、鞭打ちが終わったあと彼の背中から湯気というか、煙が出てくるんです。それをごらんになってくれたらすごく楽しいかと。それで鞭打ちの後は、お尻に焼印を押しました。泣き叫んでましたね。焼印の痛みってライオンとか猛獣に噛まれてるような感じだっていってました。

—— 鞭打ち1000発だけでも死んでしまいそうですが、作品を撮るときに一体何を合図に終わらすんですか？

浅野 私がやめようって言うまでですね。この鞭打ちのときはとりあえず女の子全員に打たせようって決めてたんです。でも自分の番が終わってからも「もう一回やりたい」って女の子が多くて困りましたよ。

—— パッケージの写真をみると女性は皆楽しそうですね。

浅野 人間便器のときなんか段々水位が上がってくるうちに女の子達が「早く溺れさせたい〜」ってはしゃいでました。溺れさせた男は水に入るのが駄目な子だったから、二重の恐怖だったでしょうね。

—— で、溺れさせたんですか？

浅野 ええ、ガバガバ飲んでましたね。それを見ながら皆でニコニコしてました。女の子達が「死ね死ねコール」をしまして、すごく面白かったですよ。

—— オシッコならまだいいですが、鞭打ちや焼印を押す時って事前に言われるんですよね？

浅野 そこはきちんと了承を得ますね。

—— ヤプーの応募は日にどれくらいくるんですか？

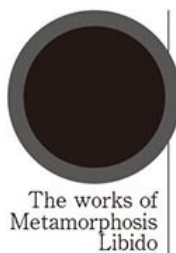
浅野 1作品撮り終わってから次にいくまで2ヶ月間あるんですが、それが面接の期間ですね。1日20人面接するときもあれば、地方に面接旅行するときもあります

—— いっそ地方で監禁されたらいいんじゃないですかね、山奥とか島とかで。

浅野 誰も助けに来ない所でやりたいですよ、だから将来の夢は島ですね。裸に首輪だけでヤプーに自給自足させて。たまにヤプー狩りなんか楽しそうですね。妄想の中だと本当は処分場もあるといいんですけどね。今はそれが夢ですね。

ヤプーズマーケット

www.team-rinryu.com/



変態のおしごと・女王様編

女性崇拜世界を作り出す 真性のサディスティン

日常からもう一つの世界へ

ヤプーズマーケットのある時期から、その作品に大きな影響を与えるようになった真正サディスティン南七海さん。声でしか知られない彼女の素顔とは一体どのようなものなのか、初めてインタビューに応じていただいた。

自分が昔からやっていたことがこれだった…

—まず、ヤプーズマーケットに入った経緯をお伺いしたいのですが。

南 そもそも私は事務員として入社しました。たまたま友達がヤプーズマーケットの事務をしていて、「手伝って欲しい」と言われて（笑）。

—普通の会社じゃないと思わなかったのですか？

南 それがね、こんな会社があるんだと思った程度で（笑）。

—その頃リリースされていたのはどんな作品だったんですか？

南 ちょうど宇佐木りんちゃんや及川結衣ちゃんがデビューした頃で、『新・畜獣死すべし』の頃ですね。

—最初からすごい作品を相手にしていたんですね。

南 今思えばそうですね。でも、仕事をする前から、代表のヤプー0号とは飲み友達で、事務所でパーティが開かれたときに何度か遊びに行っていたんですけど、鞭を浴びて血まみれの男がレオタードを着て玄関に座っているんですよ。でもそれに対して私は驚きもしなかったし、疑問にも感じなかったんです。「気持ちわるっ！」って一瞥して普通にカレーパーティに参加していました（笑）。浅野ナオミさんがヤプーをオブジェとして置いていたようで。でも「ここは突っ込んだら負けだ」と思ってあえて放置していました。まあ「何でこんなにボロボロの人がいるんだろう？」とは思



イラスト：夜馬勝絵

ましたけど。タマを焼かされていたんで股間にはガーゼという格好で（笑）。——入る前に自分の会社「ヤプーズマーケット」をネットで検索しなかったんですか？

南 しました！ でもなんというか私は未だにそうなんですけど、他のSMを知らないんです。きっとウチってハードなんですよね？ でも私はM男性とのプレイというのはこんなもんだと思っていたんです。だから手加減は分からないというか。

ナオミさんも私たちをそう育ててくれたんです。

「何をやってもいいのよ」と。だから一般の男の人に近づくのは今となっては怖いです（笑）。あと入社して知ったのが「昔から自分がやっていたのがSMだった」ということですね。男の人を虐めたりしていたんですが、やっていたことがウチの作品内でやっていることと同じだったので「あ、私って変態だったんだ！」と。

——以前やっていたって、どんなことなんですか？

南 男の人にオシッコを飲ませるのは普通にやっていました。あと殴ったり、便器に顔を突っ込んだり（笑）。その当時はプレイでなく痴話喧嘩の延長ですね。でもやればやるほど興奮していました。だからヤプーズマーケットにもすんなり入れたんだと思います。むしろ「こういう居場所があったんだ」と落ち着きを感じたんだと、今になって思います。

——入るべくして入ったんですね。

南 浅野ナオミさんにも言われました。

——ずっと男性との関係にはそういうプレイがあったんですか？

南 もちろん普段は「人間として」お付き合いしていますけど、カチンとくることがあるとスイッチが入ってしまうんでしょうね。暴力だけでなく、理詰めで追い詰めて最後「死ぬか生きるか」の選択をさせるのが楽しかったです。さっきお話した会社のパーティの時も私は何人かの友達と参加しているんですけど、誰もヤプーを見て驚かなかつたし、普通に飲んでいました。多分そういう（同じ趣味を持つ）女の子たちが自然と集まるんでしょうね。だから会社にも自然と入っていけました。

日常に突然SMが入ってくるというのが好きです

—いつから現場の方に？

南 ナオミさんと食事に行くうちに、「私もこんな作品を撮ってみたい！」と話すようになって。それなら、制作部にくれば…と誘われました。

—最初に志願して撮った作品は何ですか？

南 調教志願者の面接の待ち合わせ場所に、私カメラを持って行ってハプニング的なものを撮りたいと思ったんです。普通の街中なんですけど「ヤプーズマーケットの者です！」って声をかけて「今日は来てくれてありがとう」ってペットボトルを渡すんです。オシッコ入りの。もちろん一気飲みをさせるんですけど。公衆の面前でそうされるとどんな反応をするのか見たくて。作られた空間で「プレイ」としてでなく、日常に突然SMが入ってくるというのが撮りたかった。ペットボトルの液体を飲んだ瞬間困った顔をするんですけど、私たちは笑顔で「美味しい？」と。

—まずはそれをクリアしないと面接にも漕ぎ着けないんですか！

南 そうですね。飲んだ瞬間「ここから始まっているんだ」と察しますよね。それができない子にはその場でお帰りいただくと。こんなことで拒否するようじゃ絶対無理じゃないですか（笑）。確かに誰のオシッコかも分からないから怖いとは思いますが。でもそれが面白い。もちろんちゃんとクリアすれば、誰のオシッコか映像を見せますけどね。それを撮ったのが家畜便器面接調教完全ドキュメンタリー『ヤプーへの扉』です。

—入社してからどれくらいで企画を出して撮影したんですか？

南 7ヶ月くらいですね。半年はちゃんと事務をやりました（笑）。今では監督、カメラ、パッケージ、編集と何でも屋さんになっちゃいましたね。

—物作りの経験は？

南 昔から動画編集は好きでした。実は今と同じようなものを撮っていたというか（笑）。そういうのが好きだったんでしょね。音楽を作るのも好きだったんで映像に音をつけてというのもやっていました。

—むしろ事務で入ったのが不思議なほど素質があったと。南さんの現場でのスタンスはどんな感じなんですか？「会社の人」なのか「嬢王様の1

人」なのか？

南 ちょうど入社したのが宇佐木りんちゃんや及川結衣ちゃんや矢沢リンちゃんと一緒に。彼女たちとは入社前からパーティで飲んだこともあったので「飲み友達」というのが一番しっくりきますね。一緒に鞭で叩いたりとかもしているし。あと休憩中に家畜がサボっていると後ろから鞭とカメラを持って叩いたりしています。そうしていると他の嬢王たちも出てきて一緒に叩き始めて……なんてことはよくあります。

長期監禁すると念仏を唱えだすヤプーもいます

——ヤプーはどこにも休む場所がないんですね。

南 そうですね。ちょっと目を離すとすぐサボるから。一旦撮影が終わってヤプーを監禁部屋に入れて嬢王たちと飲みに行ったりするんですけど、ビールを飲むとトイレに行きたくなるから「じゃ行っとく？」と監禁部屋へ戻ってオシッコを飲ませたりするんです。私は日常的なプレイが好きで。オシッコ行きたくなったから便器のところへとか、ちょっとムカついたから……とか。普通の生活の流れの中でやるのが好きなんです。監禁中はみんな監禁部屋近くのホテルにみんな泊まっているんですよ。もう合宿みたいなノリで飲んで盛り上がりまた監禁部屋へ戻ってヤプーを引きずり出すと（笑）。でもその方が臨場感がありますね。向こうも怖いと思いますよ、酔っている相手は歯止めが利かないから。でも機嫌がいいとそのまま首輪をつけて散歩に行くこともありますね。監禁中は他のヤプーを見張りに付けているんです。もし逃がしたら見張りのヤプーがそのまま監禁されるというシステムで。監禁されているヤプーはそのことを知らないんですよ。でもちゃんと寝ずの番をしているから簡単に逃げることはできない。——家畜と言えどオンとオフがあると思うんです。今まで本当に嫌になって逃げ出す人はいましたか？

南 逃げ出すというよりも精神崩壊してしまって、見張りのヤプーから「ヤバイです」と連絡がくることがありますね。家畜から男に戻っているんですよ。大体一週間くらい監禁するとおかしくなってくるんですけど、念仏

を唱えたり大暴れしたり。そんなときは夜中でも行って話を全部聞くんです。聞いているうちにまた家畜モードに戻っていくんでそのまま監禁続行となります。

——カウンセラーですね！ そのときは優しく話を聞くんですか？

南 そうですね。優しくしますよ。監禁を続けたいから。監禁は長いほどいいと思っているんです。でもまだ1ヶ月半が最長ですね。ナオミさんは3ヶ月とか半年とかあると思うんですけど。

——ヤプーの監禁生活ってどうなんですか？ 住まいや食事は？

南 短期監禁のときは大型犬の檻で、長期は自作のしっかりした檻に入っています。食事は、夢を壊すかもしれないんですけど……普通のご飯にオシッコをかけるだけです。たまに茶色いトッピングがあるくらい。あれ今日カレー？って（笑）。

——全然夢を壊してないです！ あと監禁中は毎日撮影されるんですか？

南 そうですね。嬢王が入れ替わりで引きずり出して撮影します。あと、夜になったら私がカメラを回さず引きずり出します。普段はカメラを回しているから愉しめないんで。単純に昼間みんなのプレイを見て「愉しそうだな。私もこれやりたい」と思ったらやるだけです（笑）。面接作品のようなドキュメントだけでなく、ストーリーものでも監禁しています。「カット！」となってから改めて檻に繋がれると（笑）。撮影の間は全て監禁しています。ある程度の自由が利く監禁の仕方はしますよ。チェーンを長くしてあげてトイレくらいは行けるようにとか。まあ軟禁ですね（笑）。一度監禁中に檻から出して普通の食事をさせたことがあるんですけど、それで人間に戻ってしまって。もう監禁するのが難しくなったんです。一回服を着せて人間の食事をさせるとダメですね。あと髪をバリカンで刈るのは監禁生活でどれだけ髪の毛が伸びたか分かるようにやっているんです。

ヤプーズマーケット 20周年に向けてドラマ制作を

——撮影中でも「もうダメです！」と訴えるヤプーはいるんですか？

南 言葉ではなくカメラ目線で「ダメです！」と訴えてくるのはいますが

全て無視します（笑）。まあ死ななければいいかなと。今のところ救急車を呼んではないです。後から病院に行った話は聞きますけど。顔騎はやり過ぎてチアノーゼになったことはありますが、酸素を送ってなんとか耐えました。傷よりも顔騎の方が怖いですよ。後から「実は3回墮ちてました」なんて聞くんですけど、戻ってこなかったら怖いですよ。「墮ちている方が楽ですね」なんて笑っているからゆとりマゾかと（笑）。

—あらためて、嬢王様たちにとって、南さんとは？

南 私は凜とした女王様ではないので、年下の女の子も「七海ちゃん！」とちゃん付けで呼んでます。ナオミさんだとみんな一瞬でシャキッと空気が変わるのに（笑）。でもみんな私を立ててくれるんです。私が「撮りたい」と言ったものに関して協力的に動いてくれるし。

—今更なんですが、何故画面に出ないんですか？

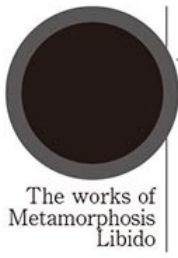
南 すごい緊張するんです（笑）。多分出たら顔も強張るし、声も震えるし。被写体になるのが苦手なんです。それよりも裏方で自由にやっている方が合っているんです。あとここまで出ていない分各自の「南七海像」というのが出来上がっていると思うんです。だからそのイメージのまま崩したくないというのもあります。

—最後に今「やってみたい」こと、温めている企画はありますか？

南 来年ヤプーズマーケットが20周年になるんです。それでヤプーズマーケットの歴史……チーム凜龍の出会いから今までをドラマで撮ってみたいなど。去年からずっと企画しているんですけどね。

—他に誰も撮れる人がいないと思います。是非撮ってください。見たいです！

南 完成したら歴代のヤプーズを並べてパーティをしてみたいですね。それが作品のラストカットになるかな。絶対実現させますね！



持って生まれた嬢王の才能 S姉妹のプライベート

女装してコスプレした姿を見られる快感

ヤプーズマーケットに双子姉妹の嬢王様がいると聞いて、さっそく取材にうかがった。

ところが、行ってびっくり、双子というのは星野ララ嬢王様とその妹さんのことだったのだ。

星野ララ嬢王様といえば、ヤプーズマーケットのコスプレ嬢王としてとても有名な方。その方が双子だったとは。そして、今キキ嬢王様が目の前に。それは、なんとも不思議な光景だった。

——キキさんが出演するきっかけはなんだったんでしょうか？

ララ嬢王様（以下ラ） 私が誘ったんです。そういう仕事をしていることは前から話していましたが、妹も興味を持っていて私のブログを読んでは面白そうって言ってたんです。前から出演したら良いのには思っていたんですよね。プライベートでもM男を飼っていましたし。

——キキさんがM男を飼ってらしたんですか？ どんな経緯でM男を飼うことになったんですか？

キキ嬢王様（以下キ） いつも周りがそういうのばかりなんですよね。直接のきっかけは友達がMだったことです。遊ぶ感覚で、そいつを蹴ったりしているうちに。

——もともと友達の関係だった人なんですか？

キ そうです。普通の友達だったのが自然にそうになりました。

——お友達のM男さんとはどんなプレイをしていたんですか？

キ 蹴ったり殴ったりは日常茶飯事でした。

車を運転している時なんかはそいつの腕がミミズ腫れになるくらい輪ゴ

ムで弾いたりして遊んでました。

— その関係は長く続いたんでしょうか？

キ そうですね、未だに彼とはお友達です。

— 鞭やろうそくを使ったりはしなかったんでしょうか？

キ もともと興味があったので、彼氏にはしてましたよ。

— ええ！ 彼氏もM男？

キ Mが多かったです。主導権を握って欲しいっていうやつが多かったですね。

— そういうこととして、恋人という関係は変わらないんですか？

キ 関係は普通の彼氏彼女ですね。ただ、プレイは、そっちの方が普通だと思ってました。別に言われなければしないんですけど、責めてくれるという男が多いので、そうなっちゃうんですよ。

— お姉さん、お互いの性癖はいつ頃知ったんですか？

ラ プライベートな事はある程度大きくなってから知ったんです。自活し出して、よく遊ぶようになってから。

— 今まで姉妹でプレイした事はないんでしょうか？

ラ 二人揃ってというのはないですね。妹の彼氏がM男でも人の物に手を出すのはちょっと申し訳ないから。

顔面騎乗専門のレーベルを立ち上げるまでの思いとは

— ララさん自ら新しいレーベルである畜人椅子道（ヤップンチェアドー）を立ち上げていますが、どんな思いがあったんでしょうか？

ラ 顔面騎乗専門のレーベルがやりたかったんですよ。そのために専用の椅子も作ってもらったんです。何度も試してやっと出来た椅子なので、ララ専用って名前をつけました。

— 以前から顔面騎乗には特別な感情があったんでしょうか？

ラ 顔面騎乗は好きなんですけど、プレイ中にM男がしゃべってしまうこと



イラスト：うすべに桜子

が多いんですよね。それをもうさせないようにしたいんです。

あなた達は私達の言う事を聞かなきゃいけない存在で、口答えもしちゃいけないし、何もしゃべってはいけない。あなた達は、ただ尽くせばいいだけの存在でいるようになって思うんですよね。そういう所から私専用の座り心地の良い椅子が欲しいと思ったんです。今まで顔面騎乗は沢山撮ってきましたけど、「苦しい」とか「もう無理です」とか、椅子がしゃべったりするじゃないですか。それにこちらも「もっと頑張りなさいよ」とか反応をするんですけど、なんで家具としゃべらなきゃいけないのかなって思うんです。それって独り言をしゃべってるのと同じことですよね。なので、家具がしゃべったり絶対にしないような作品を作りたいかったです。

— 今までM男がしゃべっていたのは許せなかったわけですね

ラ 許せないですよ。だって家具なのにしゃべるなっていう思いがありました。本当は息もしてほしくないんですけね（笑）。

— 理想としては本物の椅子として使用したい、でも相手は人間で生きているから息をさせなきゃいけないという、そのあたりの現実問題はどの辺でつじつまを合わせてらっしゃるんでしょうか？

ラ このレーベルは息をさせない方向です。この間、試作品の椅子を試している時にどれくらいの密閉度があるのか、ギリギリまで試そうとしたんですけど、M男がチアノーゼになっちゃったんです。真っ青になって、白目剥いちゃって。危うく死ぬところだったんです。顔面騎乗用の時はM男の体とは反対の方向に座るので私からM男の姿は見えないんです。その時は他の人が止めに入ってくれたので気づく事が出来たんですが。

— そのM男さんは大丈夫だったんでしょうか？

ラ すぐに酸素ボンベを吸わせましたけど、危なかったですね。

— M男へのプレイというよりは完全な椅子として扱うことがララさんの目的なんですか

ラ でも生きているM男を使っうことが重要なんですよ。黙って耐える姿をみると可愛いなと思いますよ。ぎりぎり生きてる姿が可愛いですよ。私に触る事もなく、ジタバタせずに独りで耐える姿は見ていて可愛いなと思いますよ。

— 今のお話なんですが、キキさんの場合、理想の人間椅子は沈黙してる方が良いですか、ジタバタしてる方が良いですか？

キ ジタバタしてる方が好きですね。それを無理矢理押さえつけるのが好きだと思います。といっても、やったことがないのでわからないですが。

— ララさんの作品を見たことはありますか？

キ ちょっとですけど、顔面騎乗と鞭とリンチものは見ました。

— 作品を見てこれは絶対にやりたいとうプレイはありましたか？

キ やりたいことは基本プライベートでやってきているので、そこまやりたいというものはないんです。でもカッティングはまだないんですよ。なので一度切り刻んでみたいですね。でもそれを友達にやってしまったら可哀想だなんて思うんで、撮影が楽しみですね。

なるべくして誕生した双子の嬢王様

ラ 二人とも興味のあるものが似てるんですよ。ピアッシングだったり、カッティングだったりとか。とりあえず人体改造が好きっていう所が似てるんですよ。

ある日、妹と久しぶりに会った時に、耳に開けたピアスの穴の数が同じだった時があったんです。穴を大きくしてる位置も同じで、しかもそれが左右対称だったんですよ。あの時は言ってもいないのに何なの私たちって思いました。

— それはすごい偶然というか、双子ならではということなんですか？お二人がそういった性癖に目覚めたのはいつごろでしょうか？

ラ 小学校くらいからですかね。血が好きで、かさぶたを剥がしたりして楽しんでました。

キ 私も小学校くらいからですかね。指が切れたら傷を広げて血をだしたり。

ラ あ、私も同じ事してた！ 今初めて知った！

— ちなみに男性のタイプは似てるんでしょうか？

ラ この人かっこいいよねって話をすると結構違いますね。そこだけは違うんですよ。

— お二人のM男のタイプはどうでしょう

キ 私はSの人をMにするのが好きなんですよね。

ラ うーん、私はおとなしい子が好きですね。すでに調教済みの子が良いです。

— では妹さんが調教を済まして、お姉さんがもらうのはどうでしょうか

キ 良いですね。私が調教してそろそろ死にかけだから、はいどうぞって姉に渡して。

ラ はい、どうもってそれをもらいますよ。妹にさんざんやられたんだね、可哀想に、私は優しいよ、だからいう事ききなさいねって。

— 共通のM男を飼ってみたりはしないんですか

キ それってM男は嬉しいんでしょうか？ 顔も似てるし、声も似てるし、どちらでも一緒かなって思ってしまうんですけど。

ラ 逆に同じ顔なのにきついのと優しい、飴と鞭を交互に与え続けてパニックを起こさせて、精神崩壊させてみたいですね。こっちが鞭を打ってる間にこっちは大丈夫？ って声かけたり。どっちがどっちだかわからないみたいなの。

— 姉妹で出演することに何か感じる事はありますか？

ラ まだこれからなので、見たらおかしいなってことがいっぱいあるかもしれないですね。自分の姿をみているようなもんじゃないですか。だから、あ、ここ直そう！ とか思うかもしれないですね。

キ これから姉に色々と教えてもらおうと思っているので、今回の撮影はとりあえず自由にやろうかなとは思ってます。

ラ 撮影で妹を止めるはめになるかも知れませんがね（笑）。

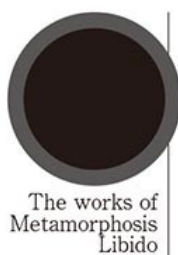


変態のおしごと

The works of Metamorphosis Libido

大人のお医者さんごっこ
医療プレイという性的診察

変態のおしごと・医療プレイ編

The works of
Metamorphosis
Libido

S看護婦の赤裸々な告白

私が医療プレイに目覚めた理由

患者さんに快樂を与える喜び

特殊な性癖の中に医療プレイというものがあります。

女医さんのような白衣を着たり、ナース服を着て、患者さんを治療するような流れでプレイする変態的な遊びです。

とても大雑把に言ってしまうと、大人のお医者さんごっこ、ということになるでしょうか。

医療プレイのスタッフを経て、本物の看護婦になったという、ちょっと変わった経歴の持ち主・Sさんの告白です。

■医療マニアのおじさま

私が医療プレイを始めたのは、高校を卒業してすぐでした。

女子高時代の私の唯一の親友は、『O嬢』とかのSM小説の愛読者でした。私と彼女は、

「いつか一緒に医療プレイのお店で働こうね」

って、その女子高時代から決めていたんです。

なんでそんな年齢で私たちが医療プレイに興味を持ったかと言うと、高校時代に遭遇した一人の男性の影響が大きかったです。

——女子高二年のとき、私は好奇心から、当時流行していた伝言ダイヤルに電話してみました。その中に、

「女子高生に、ボクのお尻を、いじめて欲しいんです」

という男性からのメッセージがあったんです。「お尻を、いじめて欲しい」という言葉に、私はすごく淫靡なものを感じました。



イラスト：四谷きりん

でも私はひとりで知らない男性に会うのは怖くて、私と同じく『O嬢』の読者だった親友を誘って、待ち合わせ場所に向かいました。

*

*

目印の車ポルシェの前に、スーツを着たおじさまが立っていました。優しそうなおじさまだったので、私たちは少し安心しました。

私たちは、車の前で少しおじさまとお話をしました。おじさまは、「あなたたち二人とSMホテルに行って、ボクをいじめてもらおうと思っていたんだけど、よろしいですか？」

と言いました。

私と親友は、この優しそうなおじさまのお尻をいじめてみたくなっていました。私は彼女と顔を見合わせて頷き、車に乗り込みました。

おじさまの車はしばらく都内を走り、ホテルの駐車場に入りました。

私たちは、そういう場所に足を踏み入れるのは初めてでした。当時は彼氏もいなかった私はSMホテルに入った時、心臓の音が高鳴りました。

おじさまは慣れた様子で、ホテルのフロントの人と何か話したあと、「こっちですよ」

と、私たちを手招きしました。

薄暗い廊下を歩き、部屋のドアを開けると、白っぽい部屋でした。部屋の中には婦人科検診台が置いてあり、なんだか病院のような部屋でした。「いじめて欲しい」と語るおじさまの言葉と、ホテルの真っ白な病室のような雰囲気、私たちには結びつきませんでした。

とにかく奇妙な部屋でした。

その部屋で、おじさまは突然服を脱ぎだし、青い…女の子のワンピースのような服に着替えました。私たちはびっくりしました。

「二人とも高校の制服が汚れるといけないから、これに着替えてきましょう」

おじさまはそう言うと、私たちのために用意してきた服を渡しました。私たちは制服を脱ぐところをおじさまに見られたくなかったので、浴室で着替えました。

私たちは、ストライプのワンピースにエプロンをつけた姿になりました。「これ、ある看護学校の制服なんだよ」

そうおじさまは、教えてくれました。これから何が起こるのか、私たちは心がトキメいていました。

■初めて使った浣腸器

おじさまは私たちに、大きい注射器のようなものを渡しました。今でこそ浣腸器だと知っていますが、そのときは注射器にしか思えませんでした。「これにお湯を入れて、ボクのお尻の穴に入れてください。そしてピストンを押して、ボクのお尻の中にたっぷりお湯を浣腸して欲しいんです」

私たちは、おじさまに浣腸器の使い方を教わりました。その浣腸器でお湯を吸ったり出したりする練習をして、それからおじさまのお尻に浣腸することになりました。

私は生まれて初めて、男性の肛門をじっくり見ました。

おじさまのお尻の穴は、何かを期待するかのように……ヒクヒクと動いていました。それを見て私は、自分のお尻の穴も興奮するとこんなふうになっちゃうのかしら?と思いました。

私は浣腸器の先を、おじさまの肛門に挿入しました。シリンダーをぐっと押して、お湯を入れていきました。おじさまは、喘いでいました。親友も私と同じように、おじさまに浣腸しました。

おじさまに催促され、私と親友は交代で何回も彼に浣腸してあげました。おじさまは私たちに浣腸される度に、女の子のように可愛く喘ぎました。

……そして、おじさまは排便の時を迎えました。

「女子高生二人にうんちするところを見られるのって、恥ずかしい……」

と言いながらも、おじさまはおまるにしゃがみこみ、水っぽい便を排泄し始めました。

肛門から、すごい勢いで水流が排泄されているところを見ていて、「このおじさまは、今どんな気持ちで欲情しているのかしら?」

という好奇心が湧いてきました。

私は大量の浣腸液を排泄しているおじさまに、「今、どんな感じなんですか?」

と、尋ねました。おじさまは、
「恥ずかしくて、おなかが苦しいけど、でもとっても気持ちいいの」
と言いました。おじさまはのペニスは猛々しく屹立していました。

……私と親友の高校生活は、月に一度のおじさまとのプレイで過ぎていきました。

■羞恥の医療マゾ女性

高校を卒業後、すぐに私と親友は雑誌に出ていた老舗医療プレイ店を訪ねてスタッフになりました。

私たちはそのプレイ店で、問診や血圧の測り方などの診察や、色々な種類の浣腸、また尿道プレイという高度な技術を要求されるプレイを学んでいきました。……その店で私たちは、医療プレイには浣腸以外にも色々な行為があるということを知ったのです。

そうやって技術を身につけ、私の手で患者さん本人も知らない新しい快感を見つけていけることが、私の密かな愉しみになりました。

——しばらく医療プレイ店で働いていたことによって、私には少女のころに抱いていた看護師への夢がよみがえってきました。年齢的にはだいぶ遅くなったものの、私は医療プレイ店を辞め、看護学校に入りました。

そこではひたすら勉強の日々でしたが、もともと興味ある分野でしたから、私にとってはさほど大変な勉強ではありませんでした。

——実際に大変だったのは、卒業後病院に勤務することになってからでした。最初の数年は緊張のし通しでした。

病院勤めに慣れてきたこともあり、私はある大きな総合病院に派遣勤務となり、患者さんたちそれぞれの性癖を見る余裕ができた頃の出来事でした。

その総合病院の産婦人科病棟には、変わった病気で長期入院していた由里さん（仮名）という女性がいました。

医師による恥ずかしい診察や治療の際、彼女が密かに欲情してしまう様子が私には分かりました。彼女は医療行為を受けることによって欲情してしまうマゾヒスティックな女性だということに、私はなんとなく気づきま

した。

由里さんは個室だったので、ナースの私と二人きりになるチャンスはありました。でも私には、彼女の心に潜む医療マゾヒズムのことを訊き出す機会がなかなか訪れませんでした。

そうこうしているうちに、現在の病院での派遣契約期間の終わりが近づいてきました。私はその前になんとか、由里さんの医療マゾヒストとしての本質を引き出してみたかったのです。正直に言いますと私はバイセクシュアルなのですが、この由里さんはかなり自分の好みのタイプでしたので敢えて危険を冒してみたかったのです……。

夜勤の日、私は仮眠室には行かず、由里さんの特別病室へ行きました。

実は彼女に夕食を持って行った時、「今夜遅く、またこの病室に伺います」

とこっそり言った私は、由里さんから了解の返事をもらっていたのです。

「看護婦さん、今夜は何か特別の診察なのでしょうか？」

か細い声で尋ねる彼女に、

「私、看護婦として、由里さんのことをもっとよく知りたかったのです」

私がそう言うと、由里さんは恥ずかしそうに目を伏せました。

近々いなくなる病院なので、私はダイレクトに由里さんに訊きました。

「由里さんって、恥ずかしい診察や治療で性的に興奮しちゃう人でしょう」

「えっ……そんな、そんなこと……」

由里さんは顔を真っ赤にして、首を振りました。その由里さんの反応は、自分が医療マゾヒストであることを認めているようなものでした。

「そう……それなら、まず私は由里さんに体調のことをお尋ねしますね」

そう言うと、由里さんは顔を火照らせましたが、でも首を縦に振りました。

私は、由里さんを問診し始めました。

「由里さん、あなたは今日はお腹張っていないですか？」

そこからはじめて、そのあとは徐々に答えにくい質問をしていきました。

お通じは毎日ありますか？

その時の便の状態はどうでしたか？ 生理周期やおりものの状態はどうなっていますか？

由里さんは、処女ですか？

性交渉の頻度はどのくらいでした？

では由里さんは、自慰行為を何日に一回ぐらいするのですか？

などと、私は訊いていきました。

由里さんが口ごもると、私はわざと、大きい声で同じ質問を繰り返しました。すると、彼女は恥ずかしさに消え入りそうな声になりながらも、全ての質問に答えてくれました。

でも私の性的な問診に答えているうちに由里さんの瞳は熱く潤んできました。由里さんが医療マゾヒストであることは、既に証明されてしまいました。

■膣内の検査で絶頂に

ここまで自分の恥を晒してしまったら由里さんは私に抵抗することもないだろう判断し、彼女をベッドに横たえました。確かに、されるがままでした。

彼女の下着を脱がせたとき、クロッチの部分がべったりとした分泌液で湿っているのに気が付きました。

「由里さんの下着、濡れてますよ。私の問診に、欲情しちゃったの？」

意地悪な気持ちになって、私はそう言いました。

「ち……違うんです……」

由里さんは、顔を真っ赤にして首を振りました。

「何が違うのかしら？ こんなにバルトリン腺液で濡れてしまっているのだったら、原因を診ないといけなわ」

私はそう言って、この特別個室に常備されている婦人科検診台に彼女を座らせて固定しました。

由里さんの性器が、丸見えになりました。陰毛はすっかり濡れていて、肛門にまで白い分泌液が溢れていました。

「これだけ分泌液で濡れている膣と肛門は、いったん綺麗にしないと診察できないわね……」

私がそう言うと、由里さんは顔を隠して泣きそうな声を出しました。

「……い、いや、恥ずかしい……」

彼女はビクッと体を震わせ、怯えたような表情をしました。でも私は、彼女の目に密かなマゾヒズムの快感があるのに、既に気づいていました。

私は、彼女の膣内に薬用潤滑ゼリーを塗りこみ、クスコを挿入しました。ゆっくりとクスコを広げるために、私はわざと緩慢にネジをまわしました。
「あああ……あ」

膣内でクスコが広がるたびに、彼女は呻きました。

ぽっかりと膣口が開きました。医療用ライトで膣内を照らすと、クスコで広げた襞は小刻みに蠕動していました。

「由里さんの膣の中は、充血してヒクヒクしています。こうしてクスコで膣内を診られて、感じているのですか？」

私が遠慮の無い言葉で責めたてると、由里さんは喘ぐように、
「いや、いや……恥ずかしい……」

と言うだけでした。

たしかに膣の奥から、半透明のバルトリン腺液が溢れてきています。
「もうちょっと膣内を綺麗にしないと、ちゃんと診られないわね」

私はぬるま湯に綿球を浸して鉗子で摘まみ、その綿球で由里さんの膣襞の中を刺激し続けました。

「あっあっ……」

由里さんは先ほどまでとは明らかに違う、甲高い声を出しました。
「私が折角きれいにしてあげてるのに、勝手にエッチな気持ちにならないでわざと意地悪そうに言いました。由里さんが、
「も、もう、許してください」

と、大きい声を出しても私は彼女の膣内の粘膜をいじり続けました。
「あっ、もうダメです。あああっ、イク、由里、イっちゃう～～」

由里さんは一際甲高い声をあげました。私が鉗子で持った綿球で、由里さんは絶頂を迎えてしまったのです……

* * *

これは一度だけの、忘れがたい思いで話です。このあと私はさまざまな医療マゾの患者さんたちと向き合いましたが、今でもこの由里さんのことを思い出してしまいます。



SANWA MOOK
『変態のおしごと』

2019年3月10日発行

発行人 / 小野寺一
編集人 / 遠藤靖晃

発行 / 三和出版株式会社
〒170-8468 東京都豊島区巣鴨4-26-10

電話 03-5907-7015 編集部
03-5907-7011 営業部